NEC

LaVie M

ユーザーズマニュアル

USER'S MANUAL

目次

853-811064-255-A
2012年10月. 初版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

	一般禁止 その行為を禁止します。
	接触禁止 特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。
	水ぬれ禁止 水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。
	火気禁止 外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。
	分解禁止 分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。
	ぬれ手禁止 ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
	電源コードのプラグを抜くように指示するものです。
	アース線を必ず接続するように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

とくに重要	してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
重要	注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、デスクトップのタスク バーにある(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索(検索番号)について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

◆利用方法

例)検索番号が「91060010」の場合

(マニュアルの記載)

(「ソフト&サポートナビゲーター」の画面)

❷ 検索番号を入力する

ソフト&サポート ナビゲーター　お問い合わせ　91060010　検索　最小化　終了
戻る　進む
ソフトを探す 目的/名前から選ぶ・起動する　安心・快適に使う 必要な準備と複数台利用　機能を知る 各部の名前/機能、設定方法　困ったら見る トラブル解決のQ&A　本ソフトについて　用語集

❸「検索」をクリックする

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

「このパソコンのモデル構成について」をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
Windows 8モデル	Windows 8があらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 8 Pro モデル	Windows 8 Proがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2010モデル	Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。
Office Home & Business 2010 モデル	Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
Office 2010 モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、またはブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
高速11n対応 ワイヤレスLAN (abgn)モデル	IEEE802.11a(5GHz)、IEEE802.11b/g(2.4GHz)およびIEEE802.11n(2.4GHz/5GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

◆このパソコンのモデル構成について

このパソコンはモデルごとに次のような機能で構成されています。ご購入いただいたモデルにどのような機能があるかご確認ください。

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分			
		BD/DVD/CD ドライブ※3	ワイヤレスLAN	OS	添付ソフト
LaVie M ※1	LM750/JS6□ (PC-LM750JS6□) ※2	ブルーレイディスクドライブモデル	高速11n対応 ワイヤレスLAN (abgn)モデル	Windows 8 モデル	Office Home & Business 2010 モデル
	LM550/JS6□ (PC-LM550JS6□) ※2	DVDスーパーマルチドライブモデル			

※1:マウスは添付されておりません。
※2:本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。
※3:BDとはブルーレイディスクのことです。

カラー	型名(型番)
フラッシュホワイト (スクラッチリペア)	LM750/JS6W(PC-LM750JS6W) LM550/JS6W(PC-LM550JS6W)
コスモブラック (スクラッチリペア)	LM750/JS6B(PC-LM750JS6B) LM550/JS6B(PC-LM550JS6B)
ブレイズレッド (スクラッチリペア)	LM750/JS6R(PC-LM750JS6R) LM550/JS6R(PC-LM550JS6R)

◆LaVie Gシリーズについて

LaVie Gシリーズの各モデルについては、添付の『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。
・このマニュアルには、複数のモデルの内容が含まれているため、お使いのモデルによっては、本文中で説明している機能が搭載されていない場合があります。

◆周辺機器について

・接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
・他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 8	Windows® 8 Windows® 8 Pro
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Word 2010	Microsoft® Office Word 2010
Excel 2010	Microsoft® Office Excel® 2010
Outlook、Outlook 2010	Microsoft® Office Outlook® 2010
PowerPoint 2010	Microsoft® Office PowerPoint® 2010
OneNote 2010	Microsoft® Office OneNote® 2010
インターネット エクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® 10
タスク バー	Windows® タスク バー
Windows Update	Windows® Update
ユーザー アカウント制御	Windows® ユーザー アカウント制御
インテル ワイヤレス・ディスプレイ	インテル® ワイヤレス･ディスプレイ
ウイルスバスター	ウイルスバスター クラウド™

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare SM International Service］対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 8、Windows® 8 Proおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9）ハードウェアの保守情報をセーブしています。

商標について

Microsoft、Access、Excel、Excel ロゴ、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPointは米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
インテル、Intel、Intel Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータ株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。
SDXC、SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
Blu-ray Disc™、Blu-ray™ および BDXL™ はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
Aterm、WARPSTARは、日本電気株式会社の登録商標です。
PCMoverは、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

各種規制について

■技術基準等適合認定について
このパーソナルコンピュータには、技術基準認証済みの通信機器が搭載されています。
本装置のモデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国モードに設定してご使用になりますと電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。なお、ご購入時の使用国モード(初期値)は「日本モード」となっておりますので、設定を変更しないでそのままご使用ください。

■高調波電流規制について
この装置の本体は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 適合品です。
本体の電源の入力波形は正弦波をサポートしています。

■電波障害自主規制について
この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

■瞬時電圧低下について
[バッテリパックを取り付けていない場合(バッテリパックがない機種含む)]
本製品は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。(一般社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示)
[充電されたバッテリパックを取り付けている場合]
本製品は、一般社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザー安全基準について
DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)が搭載されているモデルでは、レーザー製品の安全基準(JIS C 6802、IEC60825-1)のクラス1レーザー製品であるDVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)が搭載されています。レーザーマウス(ワイヤレスマウス)が添付されているモデルでは、レーザー製品の安全基準(JIS C 6802、IEC60825-1)のクラス1レーザー製品であるレーザーマウスが添付されています。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC[*1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC[*1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)
Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Personal Computers, Ltd.

安全にお使いいただくために

安全上の警告・注意事項

本体使用上の警告・注意

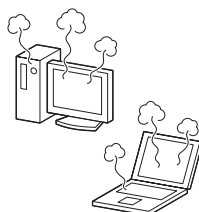
■本体使用上の警告

⚠警告

● **本製品は電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源コードのプラグ)に容易に手が届くようにしてください(バッテリパック使用時は除く)。**

電源コンセントから遠い場所に設置した場合、万一、煙や異臭、異常な音が発生したとき、手で触れないほど熱くなったときなど、電源コードのプラグをすぐに抜けなくなるおそれがあります。

● **煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本製品の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、下記にお問い合わせください。
0120-977-633

● **本製品に触れるとビリビリとした電気を感じる場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因になります。

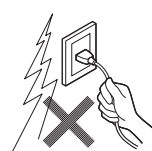
● **本製品が変形していたり、割れ目などの破損箇所がある場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因になります。

● **電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。**

電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

● **雷が鳴り出したら、本製品や本製品に接続されているケーブル類(電源コード、ACアダプタ、USBケーブルなど)に触れないでください。また、機器の接続や取り外しをおこなわないでください。**

落雷による感電のおそれがあります。

⚠警告

● **ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。**

窒息事故などを起こすおそれがあります。

● **不安定な場所に置かないでください。また、地震等によって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。**

落下、転倒してけがをするおそれがあります。

● **本製品を改造、分解しないでください。**

感電、発煙、発火の原因になります。

● **本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせないでください。**

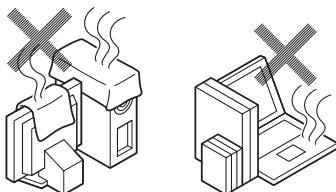
発熱、発火、破裂の原因になります。

● **本製品の内部に次のような異物を入れないでください。**

・金属物
・水などの液体
・燃えやすい物質
・薬品

回路がショートして火災の原因になります。

● **装置の通風孔(排熱孔)をふさがないでください。**

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因になることがあります。

■本体使用上の注意

⚠注意

● **本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。**

・風呂場など湿気の多い場所
・調理台や加湿器のそばなど、水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにしてNECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。乾いているようでも本製品の内部に水分が残っていることがあります。

⚠注意

● **本製品の使用中や使用直後、バッテリパックの充電中は、温度が高くなる部分がありますので注意してください。**

特に、本体底面、本体背面のコネクタ、液晶ディスプレイの周辺、キーボードのキー、コードを固定するねじ類、通風孔(排熱孔)、ACアダプタの表面、PCカード、PCカードスロット、コンパクトフラッシュカードの周辺、バッテリパックやバッテリパックの周辺などが高温になる場合があり、やけどなどのおそれがあります。

● **本製品を設置したり移動する場合は、指などをはさまないよう十分注意してください。**

設置や移動の際、本製品と床、壁などとの間に指などをはさむと、けがの原因になることがあります。

● **重い製品を移動する場合は、ひざを曲げ、体勢を整えてから、できるだけ体にくっつけるようにして持ち上げてください。**

体勢を整えないまま持ち上げると腰痛の原因になる場合があります。なお、大きな製品や特に重い製品は2人以上で持ち上げるようにしてください。

● **前面カバーがある製品の場合、カバーを開けた状態で使用するときは、十分注意してください。**

前面カバーに強くぶつかったときにけがの原因になることがあります。
ケーブル等を接続したり、一部のPCカード等を取り付けた状態では、カバーを閉じられない場合があります。この場合はカバーを開けたまま使用してください。

● **本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。注意してください。**

故障や安全の観点からご注意ください。

● **通風孔(排熱孔)からの送風に注意してください。**

通風孔(排熱孔)からの排気は室温よりも高い温度となっております。通風孔(排熱孔)からの送風に長時間当たることにより、低温やけどのおそれがあります。肌の弱い方などは特にご注意ください。

● **液晶ディスプレイを閉じた状態で使用しないでください。**

内部温度が高くなり、故障、発熱の原因となります。

● **ひざの上で長時間使用しないでください。**

使用中、本製品の底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。

低温やけどは、長時間にわたり一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑(こうはん)、水疱(すいほう)などの症状を起こすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。

● **使用するソフトによっては、パームレスト部(手をのせる部分)やキーボードのキーが多少熱く感じられることがあります。**

長時間にわたるキーボード等の操作をする場合は、低温やけどのおそれがあります。肌の弱い方などは特にご注意ください。

⚠注意

● **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイが出た状態で使用する場合は、十分注意してください。DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイはイジェクトボタンを押さなくても、ソフトウェアの動作などで本体から出てくることがあるため注意してください。**

DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイに強くぶつかったり手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。

● **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)は絶対に分解しないでください。**

故障、発熱、破損、感電の原因になります。

● **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)などのレーザー光源を直接見ないでください。**

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

● **添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクは、CD-ROM・DVD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカやCD-ROM・DVD-ROMディスクを破損する原因になります。

● **フロッピーディスクイジェクトボタンは指の腹の部分で押してください。**

爪の先でフロッピーディスクイジェクトボタンを押すと、爪と指先の間にフロッピーディスクイジェクトボタンが入ってけがの原因になります。

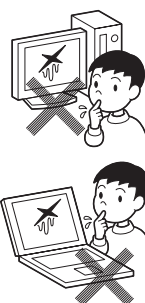
● **モデムは、一般の電話回線のみに接続してください。**

一般の電話回線以外に接続した場合、故障、発熱、破損の原因になります。

● **先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。**

● **液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。**

● **液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。**

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

● **液晶ディスプレイのガラスの取り扱いに注意してください。**

液晶ディスプレイはガラスでできています。取り扱いによってはガラスが割れることがあります。次の点に注意してください。

- ・ 液晶ディスプレイに衝撃を与えないよう、ゆっくり開閉してください。
- ・ 液晶ディスプレイを破損しないよう、無理に大きく開けないでください。
- ・ 液晶ディスプレイをたたいたり、強く押したりしないでください。
- ・ 液晶ディスプレイとキーボードの間に物をはさまないでください。

● **光学式マウスの底面の光を直接見ないでください。**

目が痛んだり、視力障害を起こすおそれがあります。

● **レーザーマウスの底面の穴を見つめないでください。**

レーザーマウスのレーザーは目で見て確認することはできませんが、底面の穴からレーザーが出ています。
レーザーが出ている穴の部分を見つめると目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。
レーザーマウスが正しく動作しているかどうかは、マウスを動かして確認してください。

電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告・注意

■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告

⚠警告

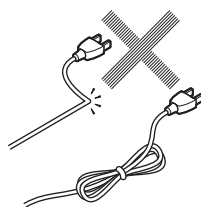
● **電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。**

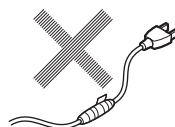
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

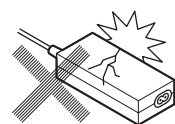
※ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。

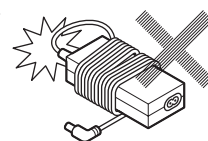
● **電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。**

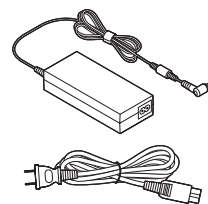
- ・落下させたり衝撃を与えない
- ・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
- ・つけ根部分を無理に曲げない
- ・重いものを載せない
- ・布などでくるまない
- ・屋外で使用しない
- ・水などの液体がかかる場所では使用しない

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **破損した電源コードは使用しないでください。**

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。

● **ACアダプタ本体や接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は、使用しないでください。**

発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● **ACアダプタ本体に電源コードや接続ケーブルを巻き付けないでください。**

電源コードや接続ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● **電源コードやACアダプタを持ち運びする際は、図のように正しくコードを束ねてください。**

コードを束ねないで持ち運ぶと、コードを傷め、発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● **電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまったままの状態で本製品を使用しないでください。**

電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまったまま使用していると、プラグのピンの間で放電(トラッキング現象)が起こり、火災の原因になります。

警告

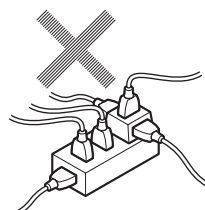
● **電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格100Vのコンセントに直接差し込んでください。また、装置添付の電源コードは他の機器には使用できません。**

やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁(二重被覆)のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に十分注意するようにしてください。

・ 落下させたり衝撃を与えない
・ 折れ曲がった状態で使用しない
・ つけ根部分を無理に曲げない
・ 重いものを載せない
・ 布などでくるまない
・ 屋外で使用しない
・ 水などの液体がかかる場所では使用しない
・ 破損したコードを使わない
・ プラグにほこりがたまったままの状態で使用しない
・ 奥までしっかり差し込む
・ プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・ コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く
・ ぬれた手で触らない
・ 釘やステープル等で固定しない

延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因になることがありますので十分ご注意ください。

● **タコ足配線にしないでください。**

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。

● **アース線がある場合、アース線は、絶対にガス管につながないでください。**

火災の原因になります。

● **アース線がある場合、アース線の金属部をコンセントとプラグの間にはさまないでください。**
またアース線の金属部をコンセントの差込口に差し込まないでください。

感電、発火の原因になります。

● **指定のACアダプタを使用し、ACアダプタを分解、改造しないでください。**

指定外のACアダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。
ACアダプタの型番については、添付のマニュアルをご覧ください。

⚠警告

● **電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等の接続の際は、次の点をお守りください。**

・ 差込部は正しい向きで接続する
・ 電源コードをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・ ウォールマウントプラグをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・ プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・ コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **長期間使用しないときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。**

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

● **ACアダプタとパソコンの接続部(DCコネクタ部)については、次の点をお守りください。**

・ 接続部をこじらない
・ 運搬、移動時は接続を外す
・ 接続ケーブルを傷付けない

発煙、発火、やけどのおそれがあります。
また、故障等で過熱している場合もありますので、接続部に触るときは十分ご注意ください。

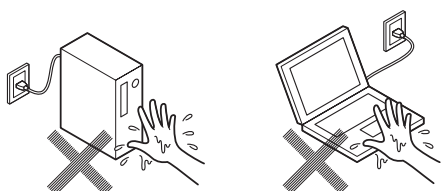
● **電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等を接続して本体を使用しているときは、ACアダプタにできるだけ接触しないでください。**

やけどの原因になります。
特に、バッテリパックの充電中は、ACアダプタの温度が高くなることがありますので注意してください。

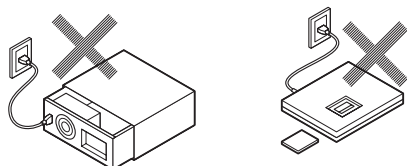
■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠注意

● **ぬれた手で触らないでください。**

電源コードのプラグがコンセントに接続されているときにぬれた手で本体やACアダプタに触ると、感電の原因になります。

⚠注意

● **電源コードのプラグがコンセントに接続されているときやバッテリが取り付けられているときは本体やメモリのカバー類を外さないでください。**

感電の原因になります。

● **アース線がある場合、必ずアース線を接続してください。**

アース線を接続しないと、感電の原因になります。

● **アース線がある場合、必ず本体および周辺機器の電源コードのプラグをコンセントに接続する前にアース線を接続してください。また、アース線を取り外すときは、必ず本体および周辺機器の電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。**

感電の原因になります。

● **お手入れの前には、必ず本製品や周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリを取り外してください。**

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

バッテリパック使用上の警告・注意

バッテリパックを指定の取り扱い方法、および環境以外で使用した場合には、発熱、発火、破裂する等の可能性があり、人身事故につながる場合があります。十分に注意してください。

■バッテリパック使用上の警告(バッテリパックが取り外し可能な機種の場合)

● **バッテリパックは指定外の方法で充電しないでください。**

マニュアルに記載されている方法で充電してください。指定外の方法で充電すると、発熱、発火、破裂することがあります。

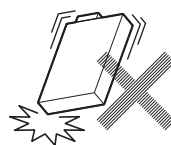
● **バッテリパックを分解、改造しないでください。**

バッテリパックを分解、改造すると、発熱、発火、破裂することがあります。弊社指定外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパック(弊社で修理対応したものを除く)は、安全を確保するためのチェック機能や制御機能が正しく動作しません。
弊社指定外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパックは、品質、性能、安全性について保証の対象外となります。

● **バッテリパックを火中に投下する、火気に近づける、加熱する、または高温状態で放置することはしないでください。**

火中に投下したり、火気に近づけたり、加熱(電子レンジ等を含む)したり、または高温状態で放置すると、発熱、発火、破裂することがあります。

● **バッテリパックを落下させる、ぶつける、先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。**

本体に装着した状態や単体での落下等の衝撃によるバッテリパック内の電池や回路基板の損傷によって、発熱、発火、破裂することがあります。バッテリパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。

● **バッテリパックの金属端子をショート(短絡)させたり、水、コーヒー、ジュース等の液体で濡らさないでください。**

発火や漏電による感電の原因になります。

● **バッテリでの駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリパックと交換してください。**

バッテリパックは消耗品です。駆動時間が短くなったバッテリパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにバラツキがあるバッテリパックをそのまま使用し続けると、障害が発生することがあります。バッテリ駆動時間が短くなった場合※には、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

※:フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルの「仕様一覧」をご覧ください。
バッテリパックの消耗度合いを確認するためには定期的に「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を実行してください(3カ月に1回が目安)。

⚠警告

● 使用しているACアダプタが使用しているパソコン用の純正ACアダプタであることを確認してください。

純正でないACアダプタを使用しているとバッテリパックが発熱、発火、破裂することがあります。必ず純正のACアダプタを使用してください。

● バッテリパックを保管する場合は、できるだけ湿度の低い冷暗所で保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。

バッテリパックを長期保管するときは、過放電を防止するため、半年に1回の割合で、50%程度の充電をしてください。また、保管のときは、ビニール袋などに入れて端子のショートが起こらないようにし、ダンボールなど電気を通さない箱に、他のバッテリパックと重ならないように入れてください。

■バッテリパック使用上の警告(バッテリパックの取り外しができない機種の場合)

● バッテリパックは指定外の方法で充電しないでください。

マニュアルに記載されている方法で充電してください。指定外の方法で充電すると、発熱、発火、破裂することがあります。

● 本製品にはバッテリパックが内蔵されていますが、お客様ご自身で取り外しや交換をおこなわないでください。

バッテリパックの寿命などで交換が必要な場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
なお、バッテリパックの交換は、保証期間内でも有料となります。

● バッテリでの駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリパックと交換してください。

バッテリパックは消耗品です。駆動時間が短くなったバッテリパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにバラツキがあるバッテリパックをそのまま使用し続けると、障害が発生することがあります。バッテリ駆動時間が短くなった場合※には、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

● 使用しているACアダプタが使用しているパソコン用の純正ACアダプタであることを確認してください。

純正でないACアダプタを使用しているとバッテリパックが発熱、発火、破裂することがあります。必ず純正のACアダプタを使用してください。

※:フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルの「仕様一覧」をご覧ください。
バッテリパックの消耗度合いを確認するためには定期的に「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を実行してください(3カ月に1回が目安)。

■バッテリパック使用上の注意(バッテリパックが取り外し可能な機種の場合)

⚠注意

● バッテリパックの取り付け／取り外しをおこなう場合には、指をはさまないよう注意してください。

けがの原因になります。

バッテリパック等の不要になった二次電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。
バッテリパック等の二次電池は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」により、回収・再資源化が求められています。

二次電池のリサイクルについては、下記のホームページでご確認ください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/battery/

電池使用上の警告・注意

■電池使用上の警告

⚠警告

● **電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。**

電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

● **電池をショート、加熱、または火の中に入れないでください。**

ショート、加熱、または火の中に入れると、電池が発熱、破裂して、けがや火災の原因になります。万一、内部の液がもれて目に入ったり、液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師にご相談ください。

● **必ず指定の電池を使用し、(＋)、(－)を正しく入れてください。**

指定以外の電池を使用したり、電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。また、使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

● **電池に充電したり、直接はんだ付けしないでください。**

充電したり、直接はんだ付けすると、破裂して、けがや火災の原因になります。

■電池使用上の注意

⚠注意

● **電池を分解しないでください。**

有害物質が出て、人体に悪影響を及ぼすことがあります。

● **電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**

液もれの原因になります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

● **電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。**

やけどのおそれがあります。万一液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。

● **種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**

液もれ、破裂などにより、やけど、けがの原因になることがあります。

⚠注意

● **乾電池は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**

絶縁しないで捨てた場合、発煙、発火の原因になります。

● **本製品内部のリチウム電池は、お客様では交換しないでください。なお、なんらかの理由でリチウム電池を捨てる必要がある場合は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**

お客様が交換した場合、故障、発煙や発火の原因になります。絶縁しないで捨てた場合、発煙、発火の原因になります。

無線（ワイヤレス）機能使用上の警告・注意

無線（ワイヤレス）機能を使用される際には、必ず添付マニュアルの各無線機能使用上のご注意もあわせてご覧ください。

■無線（ワイヤレス）機能使用上の警告

⚠警告

- **埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品をペースメーカー装着部から30cm以上離してご使用ください。**

  電波により影響を受けるおそれがあります。

- **満員電車の中など、人と人とが近接する状態となる可能性のある場所では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**

  これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方と近接する可能性があり、万が一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

- **医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**
  また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。

  医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

- **現在各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、本製品もその該当機器となります。機内では本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**

  電子機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

- **本製品の無線機能を使用中に他の機器に電波障害を引き起こした場合、すみやかに無線機能をオフにするか、本製品の使用を中止してください。**

  機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

■無線（ワイヤレス）機能使用上の注意

⚠注意

- **補聴器を装着されている方は、本製品の使用により、補聴器にノイズなどを引き起こす可能性がありますので、ご使用前にご確認ください。**

  聴力に悪い影響を与えることがあります。

周辺機器使用上の警告・注意

■周辺機器使用上の警告

● **周辺機器は、マニュアルに記載の手順にしたがって正しく取り付けてください。**

正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

■周辺機器使用上の注意

⚠注意

● **周辺機器の取り付け／取り外しをおこなうとき、特に本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **増設RAMボードの取り付け／取り外しをおこなうときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **このパソコンの使用直後に本製品のカバーを開けて、周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、CPUやCPUの周辺、ヒートシンク(放熱板)に触れないでください。**

CPU、CPUの周辺、ヒートシンク(放熱板)が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切った後、30分以上たってからおこなうことをおすすめします。

● **このパソコンの増設RAMボードの取り付け／取り外しをするときは、ボード上の部品、金属部には直接手を触れないでください。**

ボード上の部品、金属部が高温になっているため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

● **電話回線ケーブル(モジュラケーブル)の取り外しや接続をおこなうときは、モジュラコンセントの端子部分に触れないでください。**

電話がかかってくると電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラコンセントの端子に触れると感電のおそれがあります。

お手入れ時の警告

■お手入れ時の警告

● 本製品のお手入れには、可燃性のエアダスターは使用しないでください。

発火･火災の原因になることがあります。

健康上の注意

⚠注意

● **ディスプレイを長時間継続して見ないでください。**

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本製品の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

● **キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用しないでください。**

キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。キーボードやNXパッド、マウスを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本製品の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。**

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き挿し、本製品の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

製品保護上のご注意

■本製品の取り扱い上の注意

● 次のような場所では、使用／保管しないでください。

誤動作や故障の原因になることがあります。
ほこりが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの(扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど)の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／薬品や液体の近く／腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所／夏の閉めきった自動車内／人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

● 次の環境で使用してください。

デスクトップパソコンの場合、温度10℃～35℃、湿度20％～80％(結露しないこと)
ノートパソコンの場合、温度5℃～35℃、湿度20％～80％(結露しないこと)

● 本製品を使用する際は、次のことに気をつけてください。

- 落としたりぶつけたりしないよう、平らで十分な強度がある場所で使用してください。
- 結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着(結露)し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- 本製品の上にものを載せないでください。また、書類や布などで通風孔(排熱孔)をふさがないでください。
- 本製品のほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔(排熱孔)がほこりなどにより目詰まりすると、本体内の空気の流れが悪くなり、本製品の故障や機能低下の原因となることがあります。
- 本製品のそばで、飲食や喫煙をしないでください。
- 本製品を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。
- 先のとがったもので傷付けないでください。特に、指紋センサに傷が付くと、故障や照合精度が落ちる原因になります。
- DVDやCDなどのディスクにデータを記録しているときは、本製品に振動や衝撃を与えないでください。
- 静電気に注意してください。本製品は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。

● 本製品を移動するときには、必ず電源を切り、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

輸送する場合にはキャリングバッグやご購入時の梱包箱を利用してください。

● 本製品を移動するときには、DVDやCDなどのディスクを取り出してください。

本製品の故障や、DVDやCDなどのディスクの破損の原因になります。

● 長時間使用しないときは、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

パソコンの電源が切れた状態でも電源コード、ACアダプタが接続されているとパソコンの一部に通電しています。
長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

● 本製品に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。

ケーブルを引っぱって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因になることがあります。

● ケーブル類は整理してください。

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたり引っかけたりして、本製品の故障の原因になります。

● 本製品の液晶ディスプレイに画面を表示させていると、液晶ディスプレイの周りの一部分があたたかくなることがあります。

これは、表示用電源の熱によるものであり、故障や異常ではありません。本製品の電源を切ると、表示用電源が切れて温度が下がります。
ノートパソコンの場合は、液晶ディスプレイを閉じると、表示用電源が切れて温度が下がります。

■ハードディスクの取り扱い上の注意

- **振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。**
- **電源を入れたまま本製品を動かさないでください。**
- **本製品のハードディスクが動作中は本製品に衝撃や振動を与えないよう、特に注意してください。**
  ハードディスクが動作中に外部から強い衝撃を加えると、データが失われるだけでなく、ハードディスクが故障することがあります。
- **本製品のハードディスクが動作中は、電源を切ったり再起動しないよう、特に注意してください。**
  ハードディスクが動作中に電源を切ったり再起動すると、データが失われることがあります。

■データのバックアップについて

● バックアップとは

パソコンに保存されているデータをDVDやCDなどのディスク／フロッピーディスク／外付けハードディスクなどに複製(コピー)することを「バックアップを取る」といいます。
パソコンの故障などの異常が起きてご購入後に作成したデータが消えてしまった場合、そのデータをもとに戻すことはできません。
万一の事態に備えて定期的にデータのバックアップを取り、大切なデータを保護しましょう。

● バックアップを取るタイミング

特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ることをおすすめします。また、日時や曜日を決めて定期的にバックアップを取るのもよいでしょう。

■お客様が作成されたデータの保存について

お客様が作成されたデータ(画像データ、映像データ、文書データなど)やプログラム、設定内容が記憶装置(ハードディスクなど)に記憶されている場合は、お客様の責任においてバックアップをお取りくださいますようお願いします。お客様が作成されましたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。
本製品の故障や誤動作、あるいはバックアップの取り方などにより、記憶装置に記憶された内容が消失したり、バックアップしたデータが使用できない場合がございますが、当社ではその損害の責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■コンピュータウイルスの予防について

● コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、パソコンの動作に悪影響を与える不正なプログラムのことで、インターネットや電子メールなどを通じて感染する可能性があります。コンピュータウイルスに感染すると、感染したパソコンのプログラムやデータが破壊されるばかりでなく、他のパソコンへの感染源となってしまう可能性もあります。
モデルによってはコンピュータウイルスの予防と駆除をするためのソフトが添付されていますので、定期的なチェックをおこなうことをおすすめします。
また、日々増え続けるウイルスに対応するためには、「ウイルス定義ファイル」の更新が必要です。

■DVD、CD、ブルーレイディスクなどの取り扱い上の注意

●DVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

- データ面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。
- ディスクに文字を書く場合はディスク印刷面(レーベル面)に書いてください。ボールペンや鉛筆などペン先が硬いものは避け、フェルトペンなどペン先がやわらかい油性の筆記用具で手書きをするか、インクジェットプリンタ対応のディスクを使用して、インクジェットプリンタで直接印刷してください。
- 上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 汚れたDVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクは使わないでください。
- 汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けてふいてください。
- 清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどでふかないようにしてください。
- ゴミやほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

■フロッピーディスク取り扱い上の注意

●フロッピーディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

- フロッピーディスクを磁石に近づけないでください。フロッピーディスクが磁気の影響を受け、保存されている大切なデータやソフトウェアが使えなくなることがあります。磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。
- シャッターを開けて、中のディスクに触れないでください。
- 汚れたフロッピーディスクは使わないでください。
- フロッピーディスクにラベルを貼り付けた状態でラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしないでください。
- 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- ラベルは正しい位置に貼ってください。
- 飲食、喫煙しながら使わないでください。
- 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。
- 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。

■メモリーカード取り扱い上の注意

●メモリーカードを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

使用について

- メモリーカードに添付の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 静電気による故障を防ぐため、静電気を放電してからメモリーカードを取り扱ってください。
- 小型のメモリーカードなど、アダプタが必要なカードは、必ずアダプタを装着してください。
- メモリーカードは、方向を確かめて取り付けてください。
- メモリーカードスロットには、対応以外のメモリーカードを挿入しないでください。
- メモリーカードの読み込み／書き込み中は、本体や周辺機器のメモリーカードスロットからメモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードやメモリーカードスロットの金属端子部分を触らないでください。
- 裏面に通電性(電気を通す性質)がある金属が使用されているSDメモリーカード、SDHCメモリーカードやSDXCメモリーカード、マルチメディアカードや変換アダプタは使用しないでください。
- 汚れたメモリーカードは、汚れをとってから本体や周辺機器のメモリーカードスロットに取り付けてください。

取り扱いについて

- 分解しないでください。
- 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。

保管について

- 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- メモリーカードやアダプタ、メモリーカードスロットにセットされていたダミーカードなどは、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管し、誤って飲み込んだりすることがないようにしてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。
- 長期間使用しないときは、メモリーカードやアダプタを、メモリーカードスロットに取り付けたままにしないでください。
- メモリーカードには、添付の指定ラベル以外を貼らないでください。
- メモリーカードには、指定の貼付箇所以外にラベルを貼らないでください。
- 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取ってください。

■バッテリパック取り扱い上の注意

● **バッテリパックは消耗品です。**

駆動時間が短くなったバッテリパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにバラツキがあるバッテリパックをそのまま使用し続けると、障害が発生することがあります。バッテリ駆動時間が短くなった場合※には、次の対応をおこなってください。

・バッテリパックが取り外し可能な機種の場合
　弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

・バッテリパックの取り外しができない機種の場合
　バッテリ交換について詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

● **バッテリ性能の診断を定期的に実施してください。**

バッテリパックの消耗度合いを確認するために定期的に「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を実行してください(3カ月に1回が目安)。

● **ACアダプタを使用している場合でも、バッテリパックは徐々に劣化します。**

ACアダプタを使用している場合でも、長時間、ACアダプタをつないだ状態にしていると、バッテリパックの劣化を早めてしまいます。本体を使用していないときで、バッテリを充電していないときには、ACアダプタを外してください。

● **バッテリ関連Q&A 集もご覧ください。**

バッテリについてはJEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)の「バッテリ関連Q&A 集」もあわせてご覧ください。

http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14

※:フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルの「仕様一覧」をご覧ください。

■本製品の故障や機能低下を防ぐための注意

● **パソコンを持ち運ぶ際のご注意(ノートパソコンの場合)**

パソコンを持ち運ぶ際には、必ず本体側を持ってください。液晶ディスプレイ側を持つと、液晶ディスプレイに過度の力が加わり、故障や破損の原因になることがあります。

● **本製品のお手入れ**

故障や機能低下を防ぐため、本製品はこまめにお手入れしてください。なお、本製品の具体的なお手入れ方法については、添付のマニュアルをご覧ください。

● **レンズのお手入れ**

DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のレンズを清掃する際、市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーは絶対に使用しないでください。逆にゴミを集めてしまい、DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のレンズが汚れてしまうなど、故障や機能低下の原因になります。

● **通風孔(排熱孔)のお手入れ**

通風孔(排熱孔)にたまったほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔(排熱孔)がほこりなどにより目詰まりすると、本体内の空気の流れが悪くなり、本製品の故障や機能低下の原因となることがあります。

● **キーボードのお手入れ**

キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスター(不燃性のもの)などで取り除いてください。
キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップをもとに戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本製品の故障や機能低下の原因となることがあります。

健康のために

パソコンを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状が起こりやすいと言われています。

・ 眼が疲れたり、重く感じる
・ ものがぼやけて見える
・ 疲れやすい
・ 頚（くび）から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

・ 1時間の作業につき10〜15分の休息時間をとる
・ 休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとりましょう

パソコンを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

・ 背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る
・ 両手を床とほぼ平行にキーボードに置く
・ 画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする

■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

● 液晶ディスプレイの角度調節

本製品の液晶ディスプレイは、角度調節ができるようになっています(一部のディスプレイは除く)。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、液晶ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。
角度調節について詳しくは、本製品やディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の輝度(明るさ)調節・コントラスト(濃淡)調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度・コントラストは異なります。そのため、画面の輝度・コントラストは、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。
詳しくは、添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の清掃

ディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見えにくくなる原因になりますので、定期的に清掃する必要があります。

● キーボードの角度調節

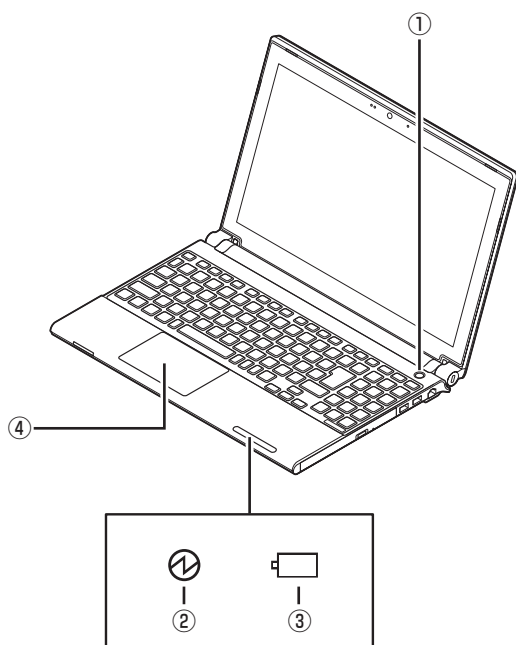
機種によっては、キーボードの角度調節ができるようになっています。好みによって、入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。
キーボードの角度調節をするときには、足を必ず両方とも立てて使用してください。
なお、足の位置については、添付のマニュアルをご覧ください。

第1章

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認は、『添付品を確認してください』または『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

①電源スイッチ
パソコンの本体の電源を入れるとき、省電力状態から復帰するときに押します。

②電源ランプ
電源が入っているときは点灯します。スリープ状態のときは点滅します。また、バッテリ残量が少ないときにも点滅します。休止状態、または電源が切れているときは消灯しています。

③バッテリ充電ランプ
バッテリの充電中は点灯します。バッテリにエラーが発生したときは点滅します。ACアダプタが接続されていないときや、充電が完了しているときは消灯しています。

④NXパッド
NXパッドを指先で操作することで、マウスを操作したときと同じように画面上のマウスポインタを動かすことができます。画面やアイコンなどにマウスポインタを合わせ、NXパッドを押し込んで操作します。また、NXパッドをタッチパネルのように使って、タップやダブルタップ、スワイプなどの操作をおこなうことができます。

NXパッドの操作、タッチ操作について 参照 「NXパッドについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93030110 で検索

パソコン各部の説明について 参照 「各部の名称と役割」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索

また、【Fn】+【1】や【Fn】+【2】を押すだけでソフトや機能を起動することができます。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、登録したデスクトップ アプリを起動します。

・【Fn】+【1】…登録したデスクトップ アプリを起動します。
　起動するアプリは、はじめて【Fn】+【1】を押したときに表示される「ワンタッチスタートボタンの設定」で登録してください。
・【Fn】+【2】…Internet Explorerが起動します。

このほかに、【Fn】+【F4】を押して、電源プランを切り換えることもできます(p.48)。

重要

- **インストールされていないデスクトップ アプリの場合、「インストール後に登録できます。」と表示されます。「手順を見る」をクリックし、表示される手順にしたがって該当のデスクトップ アプリを登録してください。**
- **【Fn】+【1】あるいは【Fn】+【2】を押すときは、キーボード上部の数字キー【1】、【2】を使用してください。キーボード右側の数字キー(テンキー)では、ソフトは起動できません。**

ソフトを起動する

このパソコンには、目的に合ったソフトを探して、起動することができる「ソフト＆サポートナビゲーター」や登録しているソフトやファイル、インターネット上のサービスなどを簡単に利用することができる「おすすめメニューNavi」が用意されています。

ソフト＆サポートナビゲーターについて

「ソフト＆サポートナビゲーター」を使うと、このパソコンのハードディスクにあらかじめ登録されているソフトを探して起動することができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」に登録されているソフト名の下に「未インストール」と表示されている場合は、「ソフトを起動」をクリックし、インストールしてから起動することもできます。

重要 削除しないでください

「ソフト＆サポートナビゲーター」は削除しないでください。もし削除した場合、もとに戻すには、パソコンの再セットアップが必要になります。

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、デスクトップのタスク バーにあるアイコンをクリックして起動してください。
ソフトを起動したいときは、「ソフトを探す」をクリックし、目的や名前から起動したいソフトを探してください。

目的や名前から起動したいソフトが探せます。

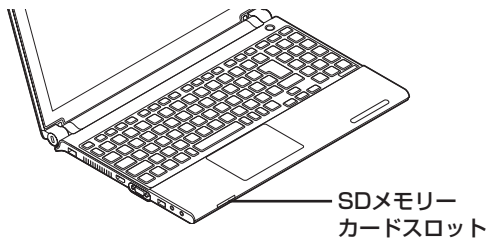
「ソフト＆サポートナビゲーター」の機能や操作方法などの詳細は、「本ソフトについて」をクリックして確認することができます。

おすすめメニューNaviについて

「おすすめメニューNavi」を使うと、インターネットで知りたい情報を検索したり、よく使うソフトをすぐに使えるように登録することができます。ソフトを登録するだけでなく、お好みの情報をいつでも表示しておくこともできます。

「おすすめメニューNavi」の機能や操作方法などの詳細は、「おすすめメニューNavi」のヘルプをご覧ください。

メモリーカード

このパソコンのメモリースロットは次の図で示す位置にあります。

使用できるメモリーカードの種類

このパソコンでは、次のメモリーカードを使用することができます。

・SDメモリーカード
・SDHCメモリーカード
・SDXCメモリーカード

市販のアダプタが必要なメモリーカード

次のメモリーカードを使用する場合には必ず市販のアダプタにセットしてから使用してください。

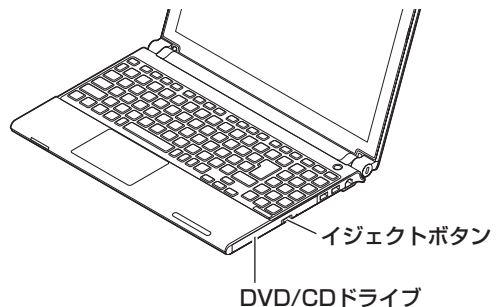
・miniSDカード、microSDカード

メモリーカードやアダプタの形状、メモリースロットへの出し入れのしかた、注意事項について 参照「SDメモリーカードスロット」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93020020 で検索

重要 miniSDカード/microSDカードは必ずアダプタを使用

市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。
必ずアダプタにセットしてから使用してください。

ディスク(DVD/CDなど)

このパソコンのDVD/CDドライブは次の図で示す位置にあります。

重要 ディスク使用時のご注意

- **CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、「安全にお使いいただくために」を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。**
- **ブルーレイディスクドライブモデルで使用できるブルーレイディスクも、CDやDVDと同じように扱います。**
- **ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。**
- **DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。**

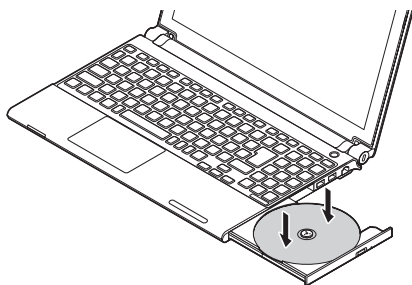
使用できるディスクやデータ形式、注意事項について 参照「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93070010 で検索

ディスクをセットする

1 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを出す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を下にしてディスクトレイの中央に置き、カチッと音がするまで、ディスクの穴を軸にしっかりはめ込む

4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクを取り出す

4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクが取り出せなくなったときは

次の方法でディスクを取り出す前に、第3章の「その他のトラブル」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」(p.84)をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。

パソコンの電源が入っていないと、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、次の操作でディスクを取り出してください。

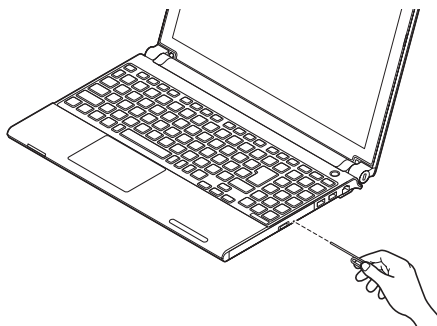
⚠注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

3 非常時ディスク取り出し穴に、手順2で準備した針金を差し込み、押し込む

ディスクトレイが少し飛び出します。

4 ディスクトレイを引き出し、ディスクを取り出す

電子メールを設定する

電子メールの設定のしかたについては「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

電子メールを設定するには 参照 「メールの設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91070040 で検索

トラブルを予防するには

ちょっとした注意で、トラブルが起こるリスクを減らすことができます。

適切な場所に設置する

パソコンは精密な機器を組み合わせて作られています。落としたり強い衝撃を与えると、機器に不具合が生じてトラブルが起こることがあります。人やドアがぶつかりやすいところ、不安定な台の上などに設置しないことが、トラブルを回避する第一歩です。また、パソコンを電磁波や熱を発生するものの近くに設置することも、パソコンの不具合の原因になります。

定期的に通風孔（排熱孔）を清掃する

通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。通風孔の清掃については、「付録」の「お手入れについて」（p.86）をご覧ください。

電源は正しく切る

パソコンの使用中にコンセントから電源コードのプラグを引き抜いたりすると、トラブルの原因になることがあります。正しい電源の切り方について詳しくは、『セットアップマニュアル』の「パソコンの電源を切るときは」をご覧ください。

ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るために、ウイルス対策ソフトを活用しましょう。
このパソコンにはあらかじめ「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトが用意されています。

ウイルスバスターについて 参照 「ウイルスバスター クラウド」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索

重要

パソコンの動きに違和感があるなど、ウイルスの感染が疑われるときは、第3章の「ウイルスの感染が疑われるとき」(p.70)をご覧になり、対処してください。

パソコンを最新の状態にする

●Windows Updateを使う

Windows Updateは、マイクロソフト社の提供するサポート機能です。インターネット経由でWindowsやマイクロソフト社のソフトを最新の状態に更新したり、問題点を修正できます。また、ウイルスや不正アクセスを防ぐための対策もおこなわれます。

Windows Updateについて 参照 「Windows Updateを使って更新する」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91060030 で検索

●Smart Updateを使う

Smart Updateは、インターネット経由で、NECが提供する更新プログラムの有無を自動で確認し、新機能の追加や問題点を修正するための更新プログラムのアップデートをおこなうサービスです。重要な更新プログラムがあったときにお知らせします。

Smart Updateについて 参照 「Smart Updateを使って更新する」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010 で検索

●ストアを使って更新する

Windows ストア アプリの更新プログラムは、「ストア」から適用することができます。「ストア」についてはWindowsのヘルプをご覧ください。

万が一のトラブルに備える

パソコンが正常に動作しているときに、あらかじめ準備しておいていただきたいことについて説明しています。

●バックアップを取る(p.42)

Windowsが起動しなくなった場合や大切なデータを誤って消してしまった場合に備えて、データの控え(バックアップ)を取ってください。

●再セットアップメディアを作る(p.61)

「再セットアップメディア」を使うことで、「おてがるバックアップ」でパソコン全体をバックアップしたデータを復元することができます。
また、ハードディスクの再セットアップデータから再セットアップできないときも、再セットアップメディアを使って再セットアップをおこなうことができます。

大切なデータの控えを取っておく

バックアップの必要性

日常生活でパソコンを活用していると、ハードディスクに次のようなデータが蓄積されていきます。

・重要な情報(知人の住所やメールアドレス、作成した文書、家計簿など)
・大切な思い出(デジタルカメラで撮影した写真、ビデオ映像など)
・趣味や娯楽のためのデータ(音楽、動画、ゲームなど)
・インターネットを使うための情報(お気に入り、パスワードなど)

もし、パソコンが故障したりウイルスに感染したりすると、これらの大切なデータが壊れたり消えたりしてしまうことがあります。また、操作を間違えて、自分で必要なデータを消去してしまうことがあるかもしれません。

万が一のときに備えて、大切なデータは定期的に控えを取っておきましょう。データの控えを取ることを、「バックアップ」(バックアップする、バックアップを取る)と呼びます。

トラブルが起こってデータが消えてしまったときでも、バックアップを使ってデータを復元することができます。

壊れたり消えたりしたデータの復旧サービスもあります(http://121ware.com/navigate/support/restoration/index.html)。

一般的なバックアップの保存先(バックアップ先)は、次のとおりです。

・パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)
・DVD-Rなどの光ディスク
・USB接続の外付けハードディスク
・USBメモリーやメモリーカード

重要

パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)をバックアップ先に選ぶと、ハードディスク自体が故障したとき、もとのデータと同時にバックアップを取ったデータまで失われてしまうおそれがあります。重要なデータは、パソコンに内蔵されたハードディスク以外の場所にデータの控えを取っておくことをおすすめします。

バックアップを取る時期について

次のような時期にバックアップをおこなうと効果的です。

・ご購入から数週間経ってデータが増えてきたとき
・古いパソコンからデータを移動してきたとき
・前回バックアップしたときから数週間経って、バックアップしていないデータが増えてきたとき

パソコンの使用頻度(データの増え方)によって、バックアップを取るタイミングを調整してください。こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

おてがるバックアップを使ってバックアップを取る

このパソコンには、バックアップを取るためのソフト「おてがるバックアップ」が搭載されています。複数のバックアップ方法が用意されているので、用途に合わせて使い分けることで、効果的にバックアップをおこなうことができます。

自動バックアップ(有料)もあります

もっと手軽にバックアップを取りたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ(有料)」もご用意しています。詳しくは、『セットアップマニュアル』の「サービス&サポートのご案内」-「データや個人情報を守るサービス(バックアップなど)」をご覧ください。

おてがるバックアップの機能

●ワンクリックバックアップ

あらかじめ設定されたデータのバックアップを取ります。

機能名	概要
マイ データ	よく使うデータや、自作のデータが通常保存されているフォルダ、インターネットの設定などのバックアップを取ります。
パソコン全体	トラブルに備えて、正常に動作しているときに内蔵ハードディスク(内蔵SSD)全体のバックアップを取ります。インターネットやメールの設定、自分でインストールしたソフトなど、セットアップ後におこなった設定をそのままバックアップ/復元できます。

どの方法でバックアップすればよいかわからない場合は、「おてがるバックアップ」の「ワンクリック バックアップ」-「マイ データ」をおすすめします。

●こだわりバックアップ

自分でバックアップの対象を設定してバックアップを取ります。定期的に自動でバックアップを取ることもできます。詳しくは「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。

バックアップを取る場所について

「おてがるバックアップ」では、バックアップ方法によって、バックアップ先に設定できる場所が異なります。

・ バックアップ対象:内蔵ハードディスク、内蔵SSD(搭載モデルのみ)

バックアップ方法		ワンクリックバックアップ		こだわりバックアップ	
		マイ データ	パソコン全体	マイ データ	ディスク、またはパーティション
バックアップ先※4	ローカルディスク(お使いのパソコンのハードディスク)	○	×	○	○※1
	USB接続の外付けハードディスク	○	○	○	○
	内蔵SSD(搭載モデルのみ)	○	×	○	○※1
	NAS(ネットワーク接続ストレージ)	×	×	○	×
	USBメモリー	○	×	○	×
	次の光ディスク※2 BD-R/BD-RE/BD-R(2層)/BD-RE(2層)/BD-R XL(3層)/BD-RE XL(3層)/DVD-R	○	○	○	○
	次のメモリーカード※3 SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード	○	×	○	×

※1:システムドライブを含む場合は、バックアップ先に設定できません。

※2:お使いのDVD/CDドライブによって、使用できる光ディスクが異なります。

※3:お使いのモデルによって、使用できるメモリーカードが異なります。

※4:USB外付け機器は必ず機器付属の説明書に書かれた用法を守ってお使いください。

大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。なお、外付けハードディスクをバックアップ先にする場合は、USB接続のハードディスクを使用してください。

「おてがるバックアップ」を使うときの注意

おてがるバックアップをお使いになるときは、次のことに注意してください。

- おてがるバックアップでバックアップを取ったデータは、このパソコンでのみ復元できます。
- バックアップを取ったデータの内容を確認したり、直接編集することはできません。
- バックアップを取るデータの量によって、バックアップにかかる時間が異なります。動画などサイズの大きなデータが含まれる場合はバックアップに時間がかかります。
- 暗号化機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。
- 定期的にバックアップを取る場合、バックアップの予定時刻には、ほかのソフトを起動しないようにしてください。
- 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「ワンクリック バックアップ」-「マイデータ」を使ってバックアップを取ることができません。
  著作権が保護されたデータのバックアップについては、購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。
- 複数のパソコンでそれぞれ「おてがるバックアップ」を使って外付けハードディスクにバックアップする場合、それぞれのパソコンごとに別々の外付けハードディスクをご用意ください。
- 「おてがるバックアップ」では、隠しパーティションを指定してバックアップすることはできません。隠しパーティションをバックアップするには、「ワンクリック バックアップ」で「パソコン全体」をバックアップ対象に指定するか、「こだわりバックアップ」の「ディスク、またはパーティション」で「パソコン全体」をバックアップ対象に指定(ご購入時の状態)してください。
- 「パソコン全体」でバックアップしたデータを復元するには、「再セットアップメディア作成ツール」で作成した再セットアップメディアが必要です(p.61)。

「おてがるバックアップ」の使い方

おてがるバックアップを起動する

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック

「おてがるバックアップ」が起動します。

重要

次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。

- **「エンド ユーザー使用許諾契約」**
- **「製品の登録」**
- **「おてがるバックアップのご紹介」**

画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。

動画で使い方の説明を見る

「ソフト&サポートナビゲーター」の「動画で学ぶ」-「データのバックアップ」で、おてがるバックアップを使ったバックアップ手順を動画で見ることができます。ステップごとの手順が動画を使って説明されているので、わからないところもくり返し確認しながらバックアップすることができます。

「動画で学ぶ」について 参照 「動画で学ぶ」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94000001 で検索

重要

動画が起動しないときは、動画がダウンロードされていない場合があります。「ストア」から「動画ナビ」を適用してください。「ストア」を利用するには、あらかじめインターネットの接続環境が必要です。

「データのバックアップ」は、次の手順で見ることができます。

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「使い方動画を見る」をクリック

この後は、画面の指示にしたがってください。

その他のバックアップ方法について

ここでは、「おてがるバックアップ」以外のバックアップ方法について紹介します。手動でバックアップを取ったり、Windowsの機能を使ってバックアップを取ることができます。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

●音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップを取る

音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

ファイル履歴でバックアップを取る

ファイル履歴は、Windows 8の機能です。「ライブラリ」、「連絡先」、「お気に入り」、「デスクトップ」フォルダの内容を自動的にバックアップするので、ファイルの破損や紛失に備えることができます。

この機能は、購入時の設定では無効になっています。この機能を利用する場合は、次の手順で有効にしてください。

●ファイル履歴をオンにする

① スタート画面で「デスクトップ」をクリック

② チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

③「コントロール パネル」をクリック

④「システムとセキュリティ」の「ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存」をクリック
「ファイル履歴」が表示されます。

⑤「ドライブの選択」で保存するドライブを選ぶ
ドライブがCドライブしかない場合は、ファイル履歴用に市販の外付けハードディスクなどを用意するか、ネットワーク上にファイル履歴保存用の共有フォルダを用意してください。

⑥「オンにする」をクリック

コピー先に保存先のドライブが表示され、自動的に1回目のファイルコピーが始まります。

この後は、指定されたスケジュール(購入時は1時間ごと)で指定したコピー先にバックアップされます。コピー先の容量がいっぱいになると、古い履歴から自動的に削除されます。

バックアップする間隔を変更する場合は、左側のメニューにある「詳細設定」で「ファイルのコピーを保存する頻度」を変更してください。

●ファイル履歴から復元する

①「ファイル履歴をオンにする」の手順4までをおこなう

② 左側のメニューの「個人用ファイルの復元」をクリック

最新のバックアップセットが表示されます。

③ 必要なファイルを選んでをクリック

復元が始まります。

重要

ファイルやフォルダを復元させる場合、もとのファイルと同じ場所に上書きされます。
同じ名前のファイルがある場合、「ファイルの置換またはスキップ」の画面が表示されるので、適切な操作を選択してください。
もとのファイルと別の場所に復元させる場合は、をクリックして表示されるメニューから復元先をクリックし、復元先を変更してください。

モバイルパソコン活用のヒント

外出先でインターネット

●ワイヤレスLANを利用する

駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。

ワイヤレスLANサービスが提供されない場所でも、通信カードや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスすることもできます。

重要

ワイヤレスLANサービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。
もし置き忘れなどにより他人の手に渡ってしまったとしても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

ウイルス対策ソフトについて 参照 「ウイルスからパソコンを守る」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040010 で検索

セキュリティについて 参照 「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91030010 で検索

「BIOS」について 参照 「ハードウェア環境の設定」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93220040 で検索

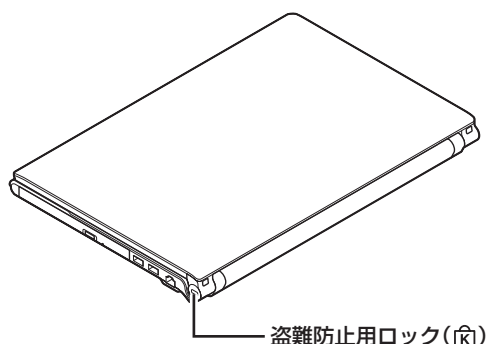
●セキュリティを万全にする

ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンが同一のLANに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、十分なセキュリティ対策をとってください。

●パスワードをかける

BIOS(バイオス)による「パソコン起動時のパスワード」や「内蔵ハードディスクにパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

●盗難防止グッズを使う

パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS16)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でのバッテリ切れは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

●正しい充電でバッテリ性能をキープする

充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、残量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

正しい充電のしかたについて 参照 「バッテリ」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150010 で検索

●残量が少なくなったら

デスクトップの画面右下にある通知領域で、ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

・電源ランプがオレンジ色に点灯したら
バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。

・電源ランプがオレンジ色に点滅したら
バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

重要

パソコン本体がスリープ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

●長時間の外出や出張には

外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。
また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

●ECOモードに切り換える

このパソコンでは、Windowsのシステムと電力に関する設定は「電源プラン」で管理しています。状況に応じて、電力を節約したり、電力とパフォーマンスのバランスをとったりすることができます。

電源プランの設定	説明
LaVie	パフォーマンスと電力のバランスをとった設定です。ご購入時の状態では、このプランに設定されています。
ECO	パフォーマンスよりも電力の節約を優先した設定です。

【Fn】+【F4】を押すと、電源プランを「ECO」に切り換えることができます。
もう一度【Fn】+【F4】を押すと、もとの電源プランに切り換わります。
電源プランの設定を変更し、より柔軟な省電力設定をすることもできます。

省電力設定について 参照 「省電力機能」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

文字やアイコンサイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

重要 変更できるのはデスクトップ

「パソらく設定」で変更できるのはデスクトップの設定です。スタート画面の設定は変更できません。

「パソらく設定」について 参照 「パソらく設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号94161819で検索

おすすめ機能について知る

ここでは、このパソコンを使いこなすためのさまざまな機能について紹介します。詳しい使い方については、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

機能	説明	検索番号
ピークシフト設定ツール	このパソコンへの電源供給を、指定した時間帯にACアダプタからバッテリに自動的に切り換えることができます。	→「省電力機能の設定を変更する」-「「ピークシフト設定ツール」で設定する」 ▶93160030
Homeリンクマネージャ	USBメモリーやメモリーカードと同じような手軽さで、スマートフォンやタブレットにあるデータを扱うことができる機能です。設定をすることで「ムービーフォトメニュー」を使って、スマートフォンやタブレットに保存している写真やビデオ、音楽ファイルにアクセスできます。	→「Homeリンクマネージャ」 ▶94082102
インテル® ワイヤレス・ディスプレイ	インテル ワイヤレス・ディスプレイ用アダプターを接続したテレビや外部ディスプレイに映像を表示することができます。	→「外部ディスプレイと連携させる」-「インテル® ワイヤレス・ディスプレイで接続する」 ▶93180070 ▶「インテル® ワイヤレス・ディスプレイで接続する」
パワーオフUSB充電機能	このパソコンの左側面にあるUSBコネクタは、パワーオフUSB充電機能に対応しています。この機能はUSBケーブルを使って充電できる機器を、パソコンの電源が切れた状態でも充電できます。 下図で、パワーオフUSB充電機能に対応したUSBコネクタの位置をご確認ください。 USBコネクタ (パワーオフUSB充電機能対応)()	→「USBコネクタ」-「パワーオフUSB充電機能について(VALUESTAR L、LaVie Eを除く)」 ▶93020010 ▶「パワーオフUSB充電機能について(VALUESTAR L、LaVie Eを除く)」

機能	説明	検索番号
パネルオープンパワーオン	液晶ディスプレイを開くだけで、パソコンを起動するように設定することができます。また、液晶ディスプレイを閉じるだけで、パソコンをシャットダウンさせたり、省電力状態にしたりするように設定することができます。	→「パネルオープンパワーオンの設定」▶94161516
コンテンツナビ	パソコン内やSkyDrive上にある写真や動画を見ることができます。メールやほかのWindows ストア アプリと写真を共有したり、SkyDriveを使って家族と写真や動画を共有することも可能です(「ストア」から最新版をインストールできます)。	→「コンテンツナビ」▶94032014

マニュアル読み替え情報について

電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ディスプレイ・画面の表示機能」-「ディスプレイの明るさ（輝度）を調節する」-「輝度の自動調節」については、以下の内容に読み替えてご覧ください。

■輝度の自動調節

このパソコンの自動輝度センサには、周囲の明るさに合わせて輝度を自動的に調節する機能がついています。ご購入時に自動輝度機能は有効になっています。

重要

自動輝度センサが有効になっている場合、OSの自動輝度制御の仕様により、現在の輝度設定と環境光から、変更可能な輝度の範囲が制限されるため、変更出来る輝度は11段階より少なくなることがあります。自動輝度センサを無効にする場合は以下の手順を行ってください。

① チャームバーを表示し、「設定」をクリックする
② 「PC設定の変更」-「全般」をクリックする
③ 「画面の明るさを自動的に調整する」を「オフ」にする

※「自動輝度調節の詳細を設定する」の記載に変更はございません。

第2章

再セットアップ

Windowsの状態が悪くなったときに、「PCのリフレッシュ」でWindowsのパフォーマンスを向上させたり、「PCのリセット」で初期化する方法について説明します。
このほかに、NECPCの提供する「再セットアップメディア」を使った再セットアップ方法などについても説明しています。
この操作により、パソコンのデータや設定が消えてしまいます。
作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。

この章の操作をおこなう前に

「Windowsをリフレッシュする」の操作をおこなうと、主要な設定や個人データ、Windows ストア アプリを除く内容はご購入時の状態に戻ります。
また、「PCを初期状態に戻す」、「再セットアップ」などの操作をおこなうと、パソコンが購入時の状態に戻り、作成したデータや設定は初期化されます。

次の順番でチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。
・ウイルスチェック(p.70)
・システムの復元を試みる(p.54)
・「おてがるバックアップ」で取ったバックアップで復元する(p.45)

システムの復元を試みる

Windowsを構成する基本的なファイルや設定情報を、作成した過去の「復元ポイント」に戻します。
「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

重要 システムの復元の前におこなうこと
- **ドライバの更新やソフトのインストールなどをおこなっていない場合は、復元ポイントが作成されていないことがあります。その場合は、システムの復元をおこなうことはできません。**
- **システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを復元することで大切なデータが失われることがあります。**
- **システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させておいてください。**
- **システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。**
  なお、ソフトにより、復元ポイントを作成した時点の状態に戻らないことがあります。必要に応じてソフトの追加/削除や更新をおこなってください。
- **操作の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。**

1 スタート画面で「デスクトップ」をクリック

2 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

3 「コントロール パネル」をクリック

4 「システムとセキュリティ」-「システム」-「システムの保護」をクリック

「システムのプロパティ」が表示されます。

5 「システムの復元」をクリック

6 「次へ」をクリック

復元ポイントの一覧が表示されます。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。
復元ポイントを選んで「影響を受けるプログラムの検出」を選ぶと復元の影響を確認できます。

7 復元ポイントを選んで「次へ」をクリック

8 内容を確認し、「完了」をクリック

9 内容を確認し、「はい」をクリック

システムの復元が始まります。復元が完了すると、パソコンが自動的に再起動します。

重要 ご自分で復元ポイントを作成する
現在の状態のパソコン設定情報を「復元ポイント」として手動で作成することができます。復元ポイントを作成するには、「システムの復元を試みる」の手順1〜4をおこない、「保護設定」で復元ポイントを作成するドライブを選んで「構成」をクリックし、「システムの保護を有効にする」を◉にし、「OK」をクリックしてください。

上記の操作をおこなう前に、あらかじめバックアップを取っておくことをおすすめします(p.42)。

再セットアップを、NECで代行するサービス(有料)もあります。ご自宅からパソコンを引き取り後、再セットアップを実施してご自宅へ配送します。詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/re-set/

Windowsをリフレッシュする(PCのリフレッシュ)

PCのリフレッシュはWindows 8の機能です。主要な設定や個人データ、Windows ストア アプリを保持したままOS(Windows 8)を再インストールします。

PCのリフレッシュで保持される主な項目

・ユーザー アカウント
・Wi-Fiやモバイルネットワーク接続設定
・壁紙
・ドキュメントのデータ
・Windows ストア アプリ　など

重要 PCのリフレッシュで保持されない内容について

ファイルの関連付けやディスプレイの設定、Windows ファイアウォール設定など、設定を復元すると問題を再現する可能性のある設定は購入時の状態に戻ります。
なお、PCのリフレッシュ後、再設定のために、復元されなかったデスクトップ アプリなどの一覧がHTMLファイルでデスクトップに作成されます。
保持されない内容については、あらかじめバックアップを取ることをおすすめします。

PCのリフレッシュをおこなう

重要

この操作は、「管理者」のアカウントでおこなってください。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「全般」をクリック

4 「PCをリフレッシュする」の「開始する」をクリック

5 「次へ」をクリック

6 「リフレッシュ」をクリック

PCのリフレッシュが開始されます。

PCのリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンが起動します。

7 パソコンにサインインする

サインインすると、PCの準備が始まります。完了すると、パソコンが使えるようになります。

この後は、必要に応じてバックアップを取ったデータを復元してください。

ソフトの設定を更新する

PCのリフレッシュ機能を利用し、システムの状態を戻した場合、「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」、「ECOモード設定ツール」、「ピークシフト設定ツール」が正常に動作しない場合があります。
PCのリフレッシュ後に、次の手順で設定を更新してください。

●「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」の場合

1 チャーム バーを表示し、「検索」をクリック

2 「アプリ」をクリック

3 「エクスプローラー」をクリック

4 エクスプローラーで「C:¥Program Files¥NECBatt¥」フォルダを表示する

5 「instnbw」または「instnbw.exe」をダブルクリック

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

システム再起動後に「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」が利用できるようになります。

●「ECOモード設定ツール」、「ピークシフト設定ツール」の場合

1 チャーム バーを表示し、「検索」をクリック

2 「アプリ」をクリック

3 「エクスプローラー」をクリック

4 エクスプローラーで「C:¥Program Files¥NPSpeed¥」フォルダを表示する

5 「InstPmcW」または「InstPmcW.exe」をダブルクリック

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

システム再起動後に「ECOモード設定ツール」、「ピークシフト設定ツール」が利用できるようになります。

PCを初期状態に戻す(PCのリセット)

PCのリセットはWindows 8の機能です。パソコンをご購入時の状態に戻します。セットアップ後におこなった設定や個人データは消去されます。

重要 譲渡や廃棄の際は再セットアップメディアを使う

一度パソコンのハードディスクに保存されたデータは、PCのリセットをおこなっても消去できない場合があります。パソコンを譲渡または廃棄する際は、再セットアップメディアを使ってハードディスクのデータ消去をおこなうことをおすすめします。

参照 ハードディスクのデータ消去について(p.64)

PCのリセットの準備をおこなう

①必要なものを準備する

・「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のプロダクトキー(Office 2010モデルのみ)※

※プロダクトキーは「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のDVD-ROMケースに記載されています。

・『セットアップマニュアル』

・『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)

そのほか、このパソコンを購入後に自分でインストールしたアプリに必要なCD-ROMなどを準備してください。

②バックアップを取ったデータの確認

PCのリセットをおこなうと、パソコンはご購入時の状態に戻ります。大切なデータや設定は、あらかじめバックアップを取っておいてください。

③初回セットアップで使用した次の情報を控える

・Microsoft アカウントの場合
- Microsoft アカウントのメールアドレスとパスワード
- ワイヤレスLANのネットワーク名(SSID)とパスワード

・ローカル アカウントの場合
　- ユーザー名とパスワード

重要

- **再セットアップ後にバックアップしたデータを復元する際、ユーザー アカウントが一致しないとデータが復元できなくなります。**
- **家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー アカウントも一緒に控えておくことをおすすめします。**
- **ユーザー アカウントを控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。**

初回セットアップ時にローカル アカウントでセットアップした後、Microsoft アカウントを取得した場合は、新たに取得したMicrosoft アカウントでセットアップすることもできます。

④インターネットの設定を控える

インターネットの設定も初期化されるため、次の項目を控えてください。プロバイダの会員証に情報が書かれている場合は、会員証を準備してください。

・ユーザーID
・パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
・メールサーバー
・ニュースサーバー

また、必要に応じてワイヤレスLANの設定を控えてください。

⑤BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOS(バイオス)の設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。

手順について詳しくは、第3章の「電源／バッテリのトラブルがおきたとき」の「BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった」(p.77)をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

BIOSセットアップユーティリティについて 参照 「ハードウェア環境の設定」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93220040 で検索

⑥市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外し、『セットアップマニュアル』で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。

DVD/CDドライブやメモリースロットなど各ドライブにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。

PCのリセットをおこなう

重要

この操作は、「管理者」のアカウントでおこなってください。

1. **チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**
2. **「PC設定の変更」をクリック**
3. **「全般」をクリック**
4. **「すべてを削除してWindowsを再インストールする」の「開始する」をクリック**
5. **「次へ」をクリック**

複数のドライブがあるパソコンでは、「PCに複数のドライブがあります」と表示されます。この場合は、「Windowsがインストールされているドライブのみ」をクリックし、表示された画面で「ファイルの削除のみ行う」をクリックしてください。

「ドライブを完全にクリーンアップする」を選ぶと、Dドライブのデータも削除されます。

6 「初期状態に戻す」をクリック

パソコンが再起動し、PCのリセットが開始されます。

PCのリセットが完了すると、パソコンが再起動します。『セットアップマニュアル』をご覧になり、セットアップをおこなってください。この後は、「PCのリセットが完了したら」をご覧ください。

PCのリセットが完了したら

①「Microsoft Office 2010※」のプロダクトキー入力やライセンス認証をおこなう(Office 2010モデルをお使いの場合)

セットアップ後にはじめてMicrosoft Office 2010を使用するときは、『セットアップマニュアル』の「Office 2010モデルをご購入いただいたお客様へ」をご覧ください。

※ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

②周辺機器を取り付ける

市販のメモリ、プリンタ、スキャナなどを取り付け、設定しなおします。ご利用の周辺機器に添付のマニュアルをご覧になり作業してください。

③市販のソフトをインストールしなおす

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、各ソフトに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

④バックアップを取ったデータを復元する

「おてがるバックアップ」でバックアップしたデータについては、第1章の「「おてがるバックアップ」の使い方」(p.45)をご覧ください。

音楽データなどの著作権保護されたデータについては、データをバックアップしたソフトなどで復元してください。

重要

- 複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。スタート画面で画面右上のユーザー アカウントをクリックし、切り換えたいアカウント名をクリックして別のユーザーで再度サインインし、ユーザーごとにデータを復元してください。
- 複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザー アカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー名をもとにユーザー アカウントを作成してください。
- 「おてがるバックアップ」について詳しくは、「おてがるバックアップ」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94021121 で検索)をご覧ください。

⑤Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows Updateやその他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。

詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

再セットアップする

ここでは、パソコンのハードディスクにあるCドライブとDドライブの領域サイズを変更して再セットアップする方法を説明しています。
ハードディスクの知識があるかた向けの操作ですので、初心者のかたやパソコンの操作に慣れていないかたは、ご購入時のサイズのまま再セットアップするか、「Windowsをリフレッシュする(PCのリフレッシュ)」(p.55)や「PCを初期状態に戻す(PCのリセット)」(p.56)をおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域を最大にして再セットアップすると、Dドライブのない構成(Cドライブのみ)になります。

再セットアップの準備をおこなう

重要 バックアップを取ったデータの確認について

この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく Dドライブのデータも失われます。あらかじめバックアップを取っておいてください。

再セットアップの前に、「PCのリセットの準備をおこなう」(p.56)の①〜⑥をおこなってください。

再セットアップする

重要

- **外付けのハードディスクなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。**
- **通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。**
- **次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。**

チャーム バーから再セットアップ画面を起動する

チャーム バーから再セットアップできないときは、BIOSセットアップユーティリティから再セットアップすることもできます(p.59)。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「全般」をクリック

4 「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」をクリック

5 「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリック

6 「トラブルシューティング」が表示されたら、「NECリカバリーツール」をクリック

7 「NECリカバリーツール」が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

8 ドライブのサイズを選んで「実行」をクリック

9 「実行します。よろしいですか?」と表示されたら、「はい」をクリック

再セットアップが始まります。
再セットアップが完了後、パソコンが再起動します。

この後は、「再セットアップが完了したら」(p.60)をご覧ください。

BIOSセットアップユーティリティから起動する

通常の状態でWindowsが動作しないときは、BIOSセットアップユーティリティからも再セットアップの画面を表示することができます。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 **パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、「BIOSセットアップユーティリティ」が表示されるまで【F2】を何度も押す**

「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。

3 **【→】、【←】で「Exit」メニューを表示し、【↓】、【↑】で「HDD Recovery」を選んで【Enter】を押す**

確認の画面が表示された場合は、「Yes」を選んで【Enter】を押してください。

4 **「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をクリック**

5 **「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリック**

6 **「トラブルシューティング」が表示されたら、「NECリカバリーツール」をクリック**

7 **「NECリカバリーツール」が表示されたら、「Windows 8」をクリック**

8 **「NECリカバリーツール」が表示されたら、「再セットアップ」をクリック**

9 **ドライブのサイズを選んで「実行」をクリック**

10 **「実行します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリック**

再セットアップが始まります。
再セットアップが完了後、パソコンが再起動します。

この後は、「再セットアップが完了したら」(p.60)をご覧ください。

再セットアップが完了したら

再セットアップが完了したら、『セットアップマニュアル』をご覧になり、セットアップをおこなってください。
その後、「PCのリセットが完了したら」(p.58)の①～⑤をおこなってください。

重要

PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、「Microsoft Office 2010※」はインストールされません。別途、インストールする必要があります。詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

※ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

これで再セットアップの作業は完了です。

再セットアップメディアを作成する

再セットアップメディアとは

頻繁にエラーやフリーズが発生したり、動作が極端に遅くなるなど、Windowsの状態が良くない場合にパソコンを購入時の状態に戻すことができます。通常は、ハードディスク内に準備されている専用のデータを用いておこないますが、次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップメディア」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**
- **「おてがるバックアップ」で「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」をバックアップしたディスクを利用して、ハードディスクを復元する場合**

再セットアップメディアは、パソコンのハードディスクから「再セットアップ用データ」をDVD-RなどのディスクやUSBメモリーなどに移して作成します。万が一のときに備えて、パソコンが正常に動作しているときに、再セットアップメディアを作成しておくことを強くおすすめします。

- **再セットアップについて詳しくは、「この章の操作をおこなう前に」(p.54)をご覧ください。**
- **再セットアップメディアを使ってできる再セットアップについては、「再セットアップメディアを使って再セットアップする」(p.64)をご覧ください。**

! 重要

Windows 8には、主要な設定や個人データ、Windowsストア アプリを保持したままOS(Windows 8)を再インストールする「PCのリフレッシュ」があります。通常は、「Windowsをリフレッシュする(PCのリフレッシュ)」(p.55)の操作をおこなってください。

再セットアップメディア作成の準備

このパソコンに入っている「再セットアップメディア作成ツール」を使って、再セットアップメディアを作成します。

再セットアップメディアの作成には、ディスクの場合2～3時間程度、USBメモリーなどの場合20～30分程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

! 重要

再セットアップメディアは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

未使用のディスク(DVD-RやBD-R)またはUSBメモリーを準備する

再セットアップメディアの作成には、DVD-RやBD-R、またはUSBメモリーが必要です。

●ディスクを使う際の注意

※ブルーレイディスク(BD-R)を使用できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「ディスクで再セットアップメディアを作成する」の手順2(p.63)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  DVD-Rディスクの場合:4.7Gバイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5Gバイトのもの
  BD-Rディスクの場合:25Gバイトのもの
  BD-R(2層)ディスクの場合:50Gバイトのもの
- **次のディスクは使用できません。**
  CD-R、DVD+R、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-RE、BD-R XL、BD-RE XL

●USBメモリーを使う際の注意

再セットアップメディアを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。

再セットアップディスクの販売について

各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

- **スクリーンセーバーが起動しないようにする**
  次の手順で設定を変更します。
  ①スタート画面で「デスクトップ」をクリック
  ②チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
  ③「個人用設定」をクリック
  ④「スクリーン セーバー」をクリック
  ⑤「スクリーン セーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
  ⑥「個人設定」の x をクリック
- **起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)**
  終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

重要

再セットアップメディアの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、サインアウト、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

再セットアップメディアの作成

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

重要

「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップメディアを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
- **「回復パーティションを削除します。」欄にチェックを入れて再セットアップメディアをUSBメモリーなどで作成した場合**
- **手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合**

USBメモリーで再セットアップメディアを作成する

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「再セットアップメディア作成ツール」の「ソフトを起動」をクリック

2 「USBメモリー」を選んで「次へ」をクリック

3 「回復パーティションをPCから回復ドライブにコピーします。」を☑にして「次へ」をクリック

重要

☑を□にすると、再セットアップに使用できないのでご注意ください。

「USB フラッシュ ドライブの接続」が表示され、再セットアップメディアの作成に必要なUSBメモリーの容量が表示されます。

4 USBメモリーをセットする

重要

- 再セットアップメディアを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。
- 再セットアップメディアを作成する際は、実際に利用可能な容量が、画面に表示された容量以上のUSBメモリーが必要です。
  USBメモリーの中には、実際に使用できる容量が表示サイズ以下の場合があります。この場合は、再セットアップメディアを作成することはできません。

この後は画面の指示にしたがって操作してください。

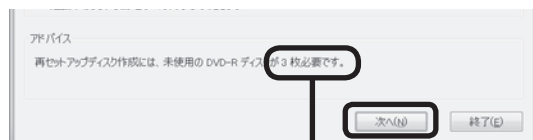
重要

作成した再セットアップメディアは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

ディスクで再セットアップメディアを作成する

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「再セットアップメディア作成ツール」の「ソフトを起動」をクリック

2 ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

DVD-RやDVD-R(2層)の場合、必要なディスクの枚数が「×～×枚」というように表示される場合があります。最初のディスクを作成した時点で必要な枚数が確定します。

3 設定内容を確認して、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

重要

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

4 用意したディスクをセットする

ディスクが認識されるまで10秒程度待ってから次の手順に進んでください。

5 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリック

7 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する

複数枚作成される場合、続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。
「再セットアップディスクを作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

重要

作成した再セットアップメディアは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップメディアを使って再セットアップする

再セットアップメディアでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないます。
ただし、「再セットアップメディアとは」(p.61)で記載したような理由で専用のデータが使用できないこともあります。
このような場合でも、あらかじめ作成しておいた再セットアップメディアがあれば、これを使って再セットアップをおこなうことができます。
また、再セットアップメディアを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

再セットアップメディアについて 参照 「再セットアップメディアを作成する」(p.61)

●おてがるバックアップ

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」で取ったバックアップデータを使ってハードディスクを復元することができます。

●Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低70Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

重要

- **この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。**
- **再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。**
- **再セットアップディスクが2枚以上の場合は、Windows 8の機能を使った「PCのリセット」(p.56)と「PCのリフレッシュ」(p.55)をおこなうことはできません。「再セットアップメディアを使った再セットアップ手順」(p.65)をご覧になり、「NECリカバリーツール」から再セットアップをおこなってください。**

●ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 8の機能を使った「PCのリセット」では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。パソコンの処分について詳しくは、「付録」の「パソコンの売却、処分、改造について」をご覧ください。消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- **かんたんモード(1回消去)**
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。
- **しっかりモード(3回消去)**
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
- **しっかりモードプラス(3回消去+検証)**
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

重要

- **この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。**
- **パソコンの電源を切った状態でバッテリパックなどの消耗品を外し、必ずACアダプタを接続しておいてください。**

- データ消去方式を選択する画面に、お使いのハードディスクの容量と、100Gバイトあたりのデータの消去にかかる目安時間が表示されます。
- ハードディスクのデータを消去する前に、BIOSの設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、第3章の「電源／バッテリのトラブルがおきたとき」の「BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった」(p.77)をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。
- SSDやハードディスクのデータを消去中に、停電などの原因でデータ消去が中断された場合は、もう一度やりなおしてください。データ消去が中断された状態では、Windows 8を起動しないでください。

再セットアップメディアを使った再セットアップ手順

重要

- 再セットアップを始めたら、手順どおり最後まで操作してください。中断したときは、最初からやりなおしてください。
- 通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

1 作成した再セットアップメディアを用意する

2 「PCのリセットの準備をおこなう」(p.56)の①～⑥をおこなう

3 パソコンに再セットアップメディアをセットする

4 パソコンの電源を切る

通常の操作で電源を切ることができない場合は、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

5 パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、「BIOSセットアップユーティリティ」が表示されるまで【F2】を何度も押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

6 【→】、【←】で「Exit」メニューを表示し、【↓】、【↑】で「Boot Override」欄にある再セットアップメディアのデバイス名を選んで【Enter】を押す

通常は「Windows Boot Manager」と手順3でセットした再セットアップメディアのデバイスの2つが表示されます。

NECロゴが表示され、「キーボードレイアウトの選択」の画面が表示されます。

重要

通常のようにパソコンが起動してしまった場合は、再セットアップメディアのデバイスを選択しなかったことが考えられます。手順4からやりなおしてください。

7 「Microsoft IME」をクリック

8 「オプションの選択」が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリック

9 「トラブルシューティング」が表示されたら、「NECリカバリーツール」をクリック

10 「回復ツール」が表示されたら、「Windows 8」をクリック

「回復ツール」は「NECリカバリーツール」と表示される場合があります。

11 「NECリカバリーツール」が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

12 以降は、画面の指示にしたがって操作する

再セットアップが完了すると、「ライセンス条項」の画面が表示されます。再セットアップメディアをパソコンから取り外してください。

13 「再セットアップが完了したら」(p.60)以降の説明を参考に、セットアップ、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをおこなう

「⑤Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」(p.58)の手順まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

パソコン全体を復元する

「おてがるバックアップ」で作成したデータを使ってパソコン全体を、バックアップを作成した時点の状態に戻します。

1 「再セットアップメディアを使った再セットアップ手順」(p.65)の手順10までをおこなう

2 「NECリカバリーツール」が表示されたら、「バックアップ時の状態に戻す」をクリック

3 「おてがるバックアップ」が起動したことを確認してから次の手順をおこなう

●バックアップデータが外付けハードディスクなどのUSB機器にある場合

バックアップデータを保存したUSB機器を接続する

USB機器のアクセスランプが消灯してから次の手順へ進んでください。

4 表示された画面で「パソコン全体」を選択して「次へ」をクリック

5 以降は、画面の指示にしたがって操作する

復元が完了すると、パソコンを再起動します。再起動の前に再セットアップメディアを取り外しておいてください。

第3章

トラブル解決Q＆A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、この章で説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタやバッテリパックを取り外して、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。

パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇この章「トラブル解決 Q&A」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

Q&A情報やウイルス/セキュリティ情報など、いろいろなサポート情報を見ることができます。

http://121ware.com/support/

◇マイクロソフトサポート技術情報（Microsoft Fix itソリューションセンター）

Windows 8に関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。

http://support.microsoft.com/fixit

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECサポート窓口（121コンタクトセンター）については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、ソフトやWindowsに異常が起きている(フリーズ、ハングアップ)可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

●操作をキャンセルしてもとに戻す

ソフトに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

●異常が起きているソフトを終了させる

通常の方法でソフトを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているソフトを終了できます。

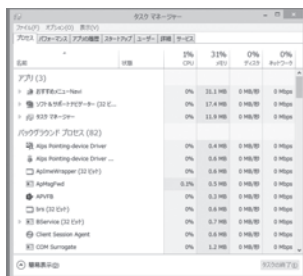
重要

この方法で終了した場合、データは保存できません。

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す

2 「タスク マネージャー」をクリック

「タスク マネージャー」が表示されます。

簡易表示

3 「応答なし」と表示されているタスク(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

「詳細」画面の場合は、「プロセス」タブにタスク(ソフト)が表示されます。

●Windowsをいったん終了する

次の手順でWindowsをいったん終了(シャットダウン)し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「電源」-「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

重要

- **ソフトなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。**
- **この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。**
- **CDやDVDなどのディスクがDVD/CDドライブに入っている場合、取り出せる状態のときは取り出してから電源を切ってください。取り出さずに電源を切った場合は、次に電源を入れたとき正しく起動しないことがあります。その場合はCDやDVDなどのディスクを取り出した後で、電源を切ってください。**
- **SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリーがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。**
- **アクセスランプが消えていることを確認してください。**
- **電話回線を使うソフトを起動しているときは、電源を切る前にソフトを終了してください。**

アクセスランプについて 参照 「各部の名称と役割」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける(通常、4秒以上)

この操作を「強制終了」といいます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

3 Windowsが起動したら、チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

4 「電源」-「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。
この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。
それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.87）へお問い合わせください。

ウイルスの感染が疑われるとき

●「ウイルスバスター」をご使用の場合
「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド（サーバ）上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している（インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLANはオフにしない）状態でウイルスの駆除をおこなってください。

ウイルス対策ソフトについて 参照 「ウイルスからパソコンを守る」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91040010で検索

●「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合
インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを、パソコンから取り外します。ワイヤレスLANの場合は、ワイヤレスLAN機能をオフにします。
なお、使用しているウイルス対策ソフトによって対処方法が異なる場合があります。詳しくは、各ウイルス対策ソフトのマニュアルなどをご覧ください。

重要
パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先
独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）
IPAセキュリティセンター
FAX：　03-5978-7518
E-mail：virus@ipa.go.jp
URL：　http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
（IPA）コンピュータウイルス110番
TEL：　03-5978-7509

パソコンの様子がおかしい

症状	原因	対処方法
煙や異臭、異常な音がする	ー	すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)にお問い合わせください。 電源が切れないときは、本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。
手でさわれないほど熱くなっている	ー	
パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた	ー	
ピーッというエラー音がした	ハードディスクの障害の可能性がある	メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)へお問い合わせください。
パソコンを使っているとカリカリと変な音がする	ー	パソコンが自動的にデータの保存などの作業をおこなっているためで、問題ありません。
	上記の対処方法で解決しない場合	あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)にお問い合わせください。
ACアダプタから異音がする	ー	ACアダプタの仕様によるもので、故障ではありません。 ACアダプタにはAC電源(交流)をDC電源(直流)に変換するトランスや電圧を安定させたりノイズを除去するコンデンサなどの部品が内蔵されており、ACアダプタを使用(バッテリ充電中を含む)すると、これらの部品が振動するため、音が発生する場合があります。 これは、パソコンだけでなく液晶ディスプレイや周辺機器など、ACアダプタを使用しているすべての機器でおこります。
ファンの音が大きい	ー	パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。 ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
	通風孔(排熱孔)にほこりがたまっている	パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は「付録」の「お手入れについて」(p.86)をご覧になり、通風孔(排熱孔)を清掃してください。
	上記の対処方法で解決しない場合	あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)へお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
パソコンが熱をもっている	パソコンの起動時、または多くの処理を同時におこなっている	内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
	通風孔（排熱孔）にほこりがたまっている	パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は「付録」の「お手入れについて」（p.86）をご覧になり、通風孔（排熱孔）を清掃してください。
	上記の対処方法で解決しない場合	あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.87）へお問い合わせください。

マウス、キーボード、NXパッドがおかしいとき

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理をするのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

アクセスランプについて 参照 「各部の名称と役割」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号93010010 で検索

症状	原因	対処方法
マウス、NXパッドを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い	ー	マウスポインタがの形に変わっていないか確認してください。 マウスポインタがの形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボード、NXパッドの操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。
	上記の対処方法で解決しない場合	ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。 「パソコンを使っていて反応しなくなった･フリーズしたとき」(p.69)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。
ワイヤレスマウスが正しく動作しない(ワイヤレスマウスが添付されているモデルのみ)	マウスのスイッチがOFFになっている	マウスのON/OFFスイッチをONにしてください。 ON/OFFスイッチ ワイヤレスマウス
	パソコン本体から離れたところで操作している	周辺からの電波の影響で通信距離が短くなることもあります。マウスをパソコン本体の正面すぐ近くに置いてみて、操作できるか確認してください。
	周辺からの電波の影響を受けている	次のような状態になっている場合は、電波の影響を受けやすいので避けてください。 ・パソコン本体が、スチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある ・パソコン本体の前に周辺機器を設置してある ・このパソコンを複数、隣接して使っている ・このパソコンに隣接した場所で電気製品を使用している ・周囲で2.4GHz帯(2.4 ～ 2.4835GHz)を使用する機器(無線LAN、Bluetooth®(ブルートゥース)テクノロジー対応機器、電子レンジなど)を使用している ・携帯電話やコードレス電話などで話し中

症状	原因	対処方法
ワイヤレスマウスが正しく動作しない(ワイヤレスマウスが添付されているモデルのみ)	機内モードがオンになっている	ワイヤレスマウスを使うときは、機内モードがオフになっている(ワイヤレスランプが点灯している)ことを確認してください。
	無線でマウスからパソコン本体に信号を送るための登録内容が消えている	このパソコンのご購入時には登録されていますが、何らかの原因で登録内容が消えることがあります。付録の「マウスについて」(p.88)をご覧になり、登録をしなおしてください。
	マウスの電池が切れている	付録の「マウスについて」(p.88)をご覧になり、電池を新しいものに交換してください。
	上記の対処方法で解決しない場合	以下の操作をおこなってみてください。 ・ マウスのON/OFFスイッチを切り、10秒後に再度スイッチを入れなおす それでも正しく動作しないときは、マウスの故障かパソコン本体の電波受信部の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)にお問い合わせください。修理、交換を依頼される場合は、マウス、パソコン本体のすべてを点検いたします。
NXパッドが正しく動作しない	指先やNXパッドが汚れている	水分や油分などの汚れをふき取ってから操作してください。
	NXパッドの2か所以上に同時に触れている	マルチタッチ･ジェスチャーでの操作以外では、NXパッドの1か所だけに触れるようにしてください。
	NXパッドが無効になっている	【Fn】を押しながら「スペース」を押してNXパッドの有効/無効を切り換えてください。
キーボードに飲み物をこぼしてしまった	ー	キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)にお問い合わせください。 **重要** ● **ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。** ● **パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。**

電源／バッテリのトラブルがおきたとき

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindows 8で発生した問題も含まれています。
Windows 8の開発元であるマイクロソフト社が、それらの問題の解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。
このマニュアルに記載されている対処方法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/fixit

症状	原因	対処方法
電源スイッチを押しても電源が入らない	ACアダプタを接続していない状態でバッテリ容量が不足している	ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)へお問い合わせください。
	パソコン本体が帯電している	次の操作をおこない、放電してみてください。 1. パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外す。 2. そのまま90秒以上放置する。 3. バッテリパックを取り付け、電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおす。 バッテリパックの取り外し方について 参照 『セットアップマニュアル』の「バッテリパック」
電源が切れない 強制的に電源を切りたい	－	「Windowsを強制的に終了する」(p.69)をご覧ください。
パソコンの電源が勝手に入ってしまう	－	「おてがるバックアップ」で、バックアップのスケジュール設定をしている場合、バックアップのためにパソコンが自動起動することがあります。 そのほか、インターネットからWindowsのモジュール(ドライバやソフトなどの更新プログラム)をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。
パソコンの電源が勝手に切れる	－	このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。この場合は、電源が切れたわけではありません。 参照 「省電力機能について」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

症状	原因	対処方法
電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された	CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされている	CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。
バッテリの駆動時間が短くなった フル充電できない	−	次の手順で「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を使ってバッテリリフレッシュをおこなってください。 1. パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む 2. チャーム バーを表示し、「検索」-「アプリ」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック 「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。 3.「次へ」をクリック 4.「開始」をクリック 5.「はい」をクリック バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。 6. 診断結果を確認する 「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリ交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリパックを交換してください。 **重要** ● **バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。** ● **バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。** ● **バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。** ・お使いの機種で使用できるバッテリパックについては、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「サービス＆サポート」(http://121ware.com/support/)の「商品情報検索」で確認できます。 ・バッテリパックのご購入については、本体を購入された販売店、またはNECのWeb購入サイト「NEC Direct」(http://www.necdirect.jp/)にお問い合わせください。 使用済みバッテリパックのリサイクルについて 参照 「バッテリパックのリサイクルについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150050 で検索

症状	原因	対処方法
BIOSの設定を変更後、Windowsが起動しなくなった	システムの設定が正しくない可能性がある	次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。 なお、BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードは、次の手順をおこなっても初期値には戻りません。 **重要** **BIOSセットアップユーティリティで設定をおこなっている間は、パソコンの電源スイッチで電源を切らないでください。電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切る操作をおこなってください。** 1. 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す 2. パソコン本体の電源を入れ、電源ランプが点灯したら、「BIOSセットアップユーティリティ」が表示されるまで【F2】を何度も押す BIOSセットアップユーティリティが起動しない場合は、いったん電源を切り、本体の電源を入れた直後にBIOSセットアップユーティリティが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。 3. 【F9】を押す セットアップ確認の画面が表示されます。 4. 「Yes」を選んで【Enter】を押す システムの設定が初期値に戻ります。 5. 【F10】を押す セットアップ確認の画面が表示されます。 6. 「Yes」を選んで【Enter】を押す システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。
電源スイッチを押しても、省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない	省電力機能(スリープ状態／休止状態)に対応していないソフトや周辺機器を使用している	対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。
	スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けた	強制的に電源が切れ、保持(記録)した内容が消えてしまう場合があります。
	休止状態の間に、周辺機器などの接続を変更した	休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。 その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

症状	原因	対処方法
電源スイッチを押しても、省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない	CD-ROMなどのディスクがセットされている	CD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにCD-ROMから起動してしまうことがあります。 省電力状態にする場合には、CD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。
	Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっている	ドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。 ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリが消耗したとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。 次の手順でハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。 1. スタート画面で「デスクトップ」をクリック 2. チャーム バーを表示し、「設定」をクリック 3.「コントロール パネル」をクリック 4.「システムとセキュリティ」-「電源オプション」-「プラン設定の変更」-「詳細な電源設定の変更」をクリック 表示された画面で「スリープ」-「ハイブリッド スリープを許可する」がオンになっているか確認してください。 ハイブリッドスリープの設定について 参照 「省電力機能について」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索
	Windows終了中に液晶ディスプレイを閉じた	このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。
	Windows終了中に省電力状態にした	
	Windows終了中に電源を切った	
	バッテリの残量が少なくなっている	ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

パソコンの起動を高速におこなえる「クイックパワーオン」も省電力機能の1つです。省電力機能についてのQ&Aで問題が解決することがありますので、あわせてご覧ください。

省電力状態からの復帰（再開）に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。
- ・ プリンタへ出力中のとき
- ・ サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・ ハードディスクを読み書き中のとき
- ・ CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・ 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

症状	原因	対処方法
シャットダウン時にエラーメッセージが表示される	シャットダウン前に操作していたソフトの終了が、システムのシャットダウンより時間がかかっている	メッセージが出るがすぐに消えて、シャットダウンが正常に終わる（その後、パソコンが正しく起動できる）場合は、特に問題ありません。 シャットダウンができない（エラーメッセージが表示されたままになる）場合は、「Windowsを強制的に終了する」（p.69）の手順で電源を切ってください。

使用中に画面に何も表示されなくなったとき

症状	原因	対処方法
ディスプレイ(画面)に何も表示されない	ディスプレイが省電力状態になっている	キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、NXパッドに触れてみてください。 ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないとディスプレイの電源が切れるように設定されています。
	パソコン本体が省電力状態になっている	パソコン本体の電源スイッチを押してください。 ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。 省電力機能について 参照 「省電力機能について」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索
	ー	省電力状態から正常に復帰できないときは、「電源スイッチを押しても、省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない」(p.77)をご覧ください。
	ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっている	【Fn】+【F8】、【Fn】+【F9】で画面の輝度(明るさ)を調節してください。 【Fn】+【F8】を押すと、液晶ディスプレイが暗くなります。 【Fn】+【F9】を押すと、液晶ディスプレイが明るくなります。 なお、電源プランを「ECO」に切り換えたり、一定時間操作しないと画面は暗くなります。 「ECO」で使用中、ディスプレイで画面の輝度を調節した場合、スリープ状態からの復帰時や再起動すると画面の輝度は「ECO」の設定に戻ります。
	外部ディスプレイにのみ表示する設定になっている	【Fn】+【F3】または【⊞】+【P】を押して表示される画面で【P】、【↑】、【↓】を使って画面の出力先を変更し、【Enter】を押してください。 いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます。 また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。 参照 「画面を表示するディスプレイを切り換える」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180120 で検索

メッセージが表示されたとき

症状	原因	対処方法
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された	－	サインインしているユーザー アカウントの種類により対応が異なります。 **管理者の場合** 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「いいえ」をクリックすることで被害を防げることがあります。 **標準の場合** 「標準」のユーザー アカウントでパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

パスワードのトラブルがおきたとき

症状	原因	対処方法
パスワードが間違っているというメッセージが表示される	Ⓐ(キャップスロック)、①(ニューメリックロック)の状態が変更されている	必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。 また、ニューメリックロックがオンになっていると、テンキーから数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。 キャップスロック、ニューメリックロックについて 参照 「キーの使い方」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93040030 で検索
Windowsの パスワードを忘れた	―	**Microsoft アカウントのパスワードの場合** オンラインでリセットすることができます。詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。 **重要** **リセット後に設定した新しいパスワードでサインインするには、このパソコンがインターネットに接続している必要があります。** **ローカル アカウントのパスワードの場合** 一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないで➔をクリックすると)、「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。 または、このパソコンの管理者権限を持った、ほかのユーザー アカウントを登録してあれば、そのユーザー アカウントでサインインし、次の手順でパスワードを設定しなおすことができます。 1. スタート画面で「デスクトップ」をクリック 2. チャーム バーを表示し、「設定」をクリック 3.「コントロール パネル」をクリック 4.「ユーザー アカウントとファミリーセーフティ」をクリック 5.「ユーザー アカウント」-「別のアカウントの管理」をクリック 表示された画面で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。 **重要** **ほかのユーザー アカウントでサインインしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。**
	上記の対処方法で解決しない場合	「再セットアップする」(p.59)をご覧になり、再セットアップしてください。

症状	原因	対処方法
ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れた	－	BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)にご相談ください。 BIOSセットアップユーティリティについて 参照 「ハードウェア環境の設定」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93220040 で検索
ハードディスクのパスワードを忘れた	－	NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

その他のトラブル

症状	原因	対処方法
DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった	DVDやCDの再生中または書き込み中	DVDやCDの再生中または書き込み中のときは停止させてからディスクを取り出してください。
	電源が入っていない	電源を入れてからディスクを取り出してください。
	ー	画面の操作で取り出しをしてみてください。 1. チャーム バーを表示し、「検索」をクリック 2.「アプリ」をクリック 3.「コンピューター」をクリック 4. DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリック
	ー	アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。 アクセスランプについて 参照 「各部の名称と役割」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索
	上記の対処方法で解決しない場合	パソコンの電源が入っているにもかかわらず、DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったときは、非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出してください。 ディスクの取り出し方について 参照 第1章の「ディスク(DVD/CDなど)」(p.38)
パソコンを落とした	ー	電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。パソコンが故障している可能性があります。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.87)に電話してください。
HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどでDVDや動画がなめらかに再生できない	リフレッシュレートまたは画面解像度の設定が適切ではない	リフレッシュレートを上げるか、または画面解像度を下げてください。 参照 「解像度を設定する」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180030 で検索
再セットアップ画面が表示できない	ー	再セットアップメディアを使って再セットアップしてください。再セットアップ方法は、「再セットアップメディアを使って再セットアップする」(p.64)をご覧ください。 再セットアップメディアは作成する必要があります(p.61)。

付　録

お手入れについて

準備するもの

軽い汚れのとき	汚れがひどいとき
乾いたきれいな布	水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布

お手入れをするときのご注意

- 可燃性のエアダスターは使用しないでください。発火･火災の原因となることがあります。
- シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
- 水かぬるま湯を含ませた布は必ずよくしぼり、パソコン本体、キーボード、マウス（添付モデルのみ）の汚れをふき取る際に水が入らないよう十分注意してください。
- 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- お手入れの前に『セットアップマニュアル』の「パソコンの電源を切るときは」の手順で電源を切ってください。電源コードのプラグはコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

パソコン各部の清掃のしかた

●パソコン本体

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

●液晶ディスプレイ

やわらかい素材の乾いた布でふいてください。化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

●電源コード/ACアダプタ

電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

●キーボード、マウス（添付モデルのみ）

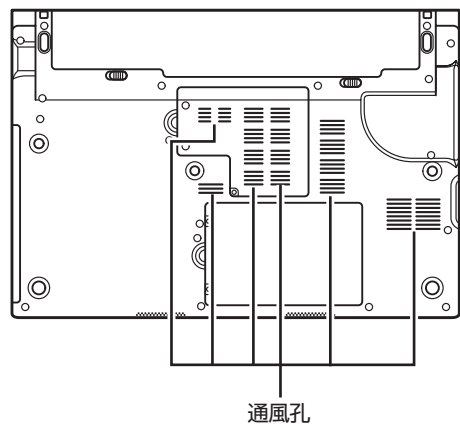
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

重要

- **キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスター（不燃性のもの）などで取り除いてください。**
- **キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップをもとに戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本装置の故障や機能低下の原因となることがあります。**

●通風孔

通風孔のお手入れの際は、掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

本体底面

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)について
参照『セットアップマニュアル』の「サービス&サポートのご案内」

保守サービスに依頼するときのご注意

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

消耗品と有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。

消耗品は、使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償になります。

有寿命部品は、使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償になる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

本製品使用のアルミ電解コンデンサは、有寿命部品です。寿命が尽きた状態で使用し続けますと、電解液の漏れや枯渇に至り、異臭や発煙の発生する場合があります。その場合には直ちに使用を中止し修理を依頼してください。(尚、アルミ電解コンデンサの交換は保守部品単位になります。)

種類	該当品または部品 (代表例)
消耗品	フロッピーディスク、CD-ROMディスク、DVD-ROMディスク、SDメモリーカード、バッテリ、乾電池など
有寿命部品	液晶ディスプレイ、 ハードディスクドライブ、SSD DVD/CDドライブ、 キーボード、マウス、ファン、NXパッド、 アルミ電解コンデンサが使用されているユニット(ディスプレイ、DVD/CDドライブ、ハードディスクドライブ/SSD、電源、ACアダプタ、マザーボード、グラフィックボードに含まれる内蔵基板など)

※記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。

「仕様一覧について」参照「仕様一覧について」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索

消耗品や有寿命部品に関するご注意

・有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
　また、長時間連続使用などのご使用状態や、温湿度条件などのご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。

・本製品の補修用性能部品の保有期間は、パソコン本体、オプション製品については製造打切後6年です。

24時間以上の連続使用について

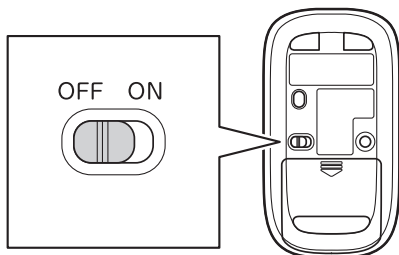
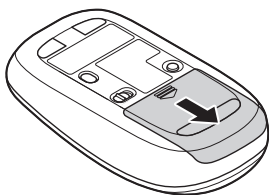
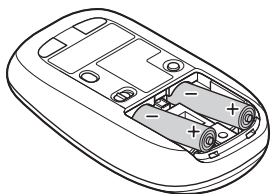
・本製品は24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
　24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

マウスについて

マウスを使えるようにする

ワイヤレスマウスが添付されているモデルでは、乾電池をセットしてマウスを使用できます。

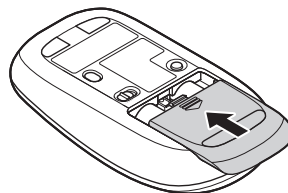
1 マウスを裏返し、底面のON/OFFスイッチを「OFF」にする

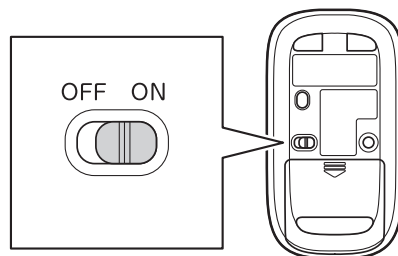
マウス底面のON/OFFスイッチを左にスライドさせ、「OFF」になっているか確認してください。

2 底面のカバーを外す

3 乾電池を入れる

単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池をマウスの内部に向けて押し込み、後方を端子に合わせて入れてください。

重要

- **乾電池の＋(プラス)と－(マイナス)の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。**
- **マウスの後方の端子が変形しないように乾電池を入れてください。**
- **マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。**

4 カバーをもとどおりはめる

カバーのツメをマウスにはめこみ、カチッと音がするまで図の矢印の向きにスライドさせてください。

5 マウス底面のON/OFFスイッチを「ON」にする

マウス底面のON/OFFスイッチを右にスライドさせ、「ON」にしてください。

マウスを動かすと、画面の矢印が動きます。

重要

- **マウス底面から、目では見えませんが、レーザーが出ています。レーザーが出ている穴の部分を見つめると、視力に障害が起こる可能性があるので見つめないように注意してください。**
- **マウスの電池寿命は、アルカリ電池で使用した場合、約10か月です(1日8時間、週5日ご使用された場合。なお、ご使用方法、環境条件によって異なる場合があります)。**
- **マウスを長時間使わないときは、マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。**

マウスがうまく動作しないときは、次の「マウスを登録しなおす」をご覧ください。

マウスを登録しなおす

マウスが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でマウスを登録しなおしてください。

パソコンを修理･交換した場合も、登録しなおす必要があります。

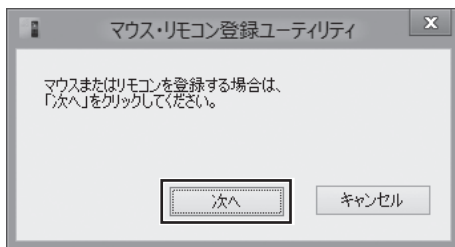
1 スタート画面で「デスクトップ」をクリック

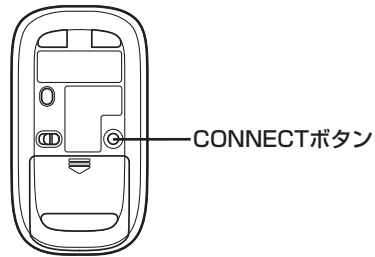
デスクトップが表示されます。

2 【Fn】を押しながらスペースキーを押して、NXパッドを有効にする

3 マウス底面のON/OFFスイッチを「ON」にする

4 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「マウス・リモコン登録ユーティリティ」の「ソフトを起動」をクリック

5 「次へ」をクリック

マウスを登録するときは、機内モードがオフである(ワイヤレスランプが点灯している)ことを確認してください。機内モードは【Fn】+【F2】を押すごとにオン/オフを切り換えられます。

6 30秒以内にマウスのCONNECTボタンを約1秒間押す

7 「OK」をクリック

マウスを操作して、正常に動作するかを確認してください。

登録できなかった場合は手順3からやりなおしてください。

パソコンの売却、処分、改造について

パソコンを他人に売却、処分するときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造はおこなわないでください。

このパソコンを売却するには

当社はご使用済みパソコンの買い取り・買い替えサービスを提供しております。サービスの内容や買取価格については、次のホームページをご覧ください。
(http://121ware.com/support/recyclesel/)
買い取り後は、再生しリフレッシュ PCとして再利用されます。
リフレッシュ PCについては、次のホームページをご覧ください。
(http://121ware.com/refreshed-pc/)

パソコンを譲渡する際のご注意

パソコンを譲渡する際には次の点に注意してください。

・パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

再セットアップメディアによるハードディスクの消去について 参照 第2章の「再セットアップメディアを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」(p.64)

・第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。

・ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

このパソコンを譲渡するには

譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/my/)にアクセスし、登録をお願いします。

お客様登録の方法について 参照 『セットアップマニュアル』の「お客様登録のお願い」

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の底面にある型番、製造番号が記載されたラベル)に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する場合

弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。
詳細については次のサイトや窓口を確認してください。

●廃棄時の詳細について
NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」
(http://121ware.com/support/recyclesel/)

●廃棄についてのお問い合わせ
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)

フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。

03-6670-6000(東京)
(通話料金はお客様負担になります)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は『セットアップマニュアル』をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
(http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/)
※本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

重要
本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)の文書をご参照ください。
(http://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_8vAEy2Fi5d.pdf)

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。
このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去が可能です。

「データやファイルの削除」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

再セットアップメディアによるハードディスクの消去について 参照 第2章の「再セットアップメディアを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」(p.64)

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外になることがあります。

仕様一覧

このパソコンの仕様についての詳細は、「ソフト＆サポートナビゲーター」に記載のホームページをご覧ください。

LaVie Gシリーズの仕様一覧については、『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

仕様一覧について 参照 「仕様一覧について」▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索

本体仕様一覧

●LM750/JS6W、LM750/JS6B、LM750/JS6R LM550/JS6W、LM550/JS6B、LM550/JS6R

型名			LM750/JS6W LM750/JS6B LM750/JS6R	LM550/JS6W LM550/JS6B LM550/JS6R
型番			PC-LM750JS6W PC-LM750JS6B PC-LM750JS6R	PC-LM550JS6W PC-LM550JS6B PC-LM550JS6R
CPU			第3世代 インテル® Core™ i7-3517U プロセッサー	第3世代 インテル® Core™ i5-3317U プロセッサー
メインメモリ ※1※2※3※4	標準容量／最大容量		8GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×2、PC3-12800対応、デュアルチャネル対応)／ 16GB ※5※6	4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×1、PC3-12800対応、デュアルチャネル対応可能)／ 16GB ※5※6
ドライブ	BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.93)をご覧ください)		ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き(BDXL™対応))※7※8※9	DVDスーパーマルチドライブ[DVD-R/+R 2層書込み] ※7
サウンド機能	音源／サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※10)、Waves社製MaxxVolume®SD機能搭載※11、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング)	
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応	
	ワイヤレスLAN		高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵(IEEE802.11a/b/g/n準拠、Wi-Fi Direct™準拠)、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応	
	Bluetooth®		Bluetooth® テクノロジー本体内蔵(Ver4.0＋HS準拠)	
外部インターフェイス	サウンド関連	マイク入力 ※12	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 47kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V]	
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1[対応ヘッドフォンインピーダンス 16 〜 100Ω(推奨32Ω)、出力 5mW/32Ω時]	
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)	
外形寸法	本体(突起部除く)		328.5(W)×225.9(D)×26.8(H)mm	
質量	本体(標準バッテリパック含む) ※13		約1.90kg	約1.88kg
電源※14※15			リチウムイオンバッテリ(M)(DC10.8V、Typ.6700mAh※16)またはACアダプタ(AC100 〜 240V±10%、50/60Hz)	
消費電力	最大時		約65W	

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※ 1： 増設メモリは、PC-AC-ME057C(8GB、PC3-12800)を推奨します。
※ 2： 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※ 3： メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。
※ 4： 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※ 5： メモリ増設した場合、容量が異なるメモリを増設すると、少ないメモリに合わせた容量までデュアルチャネル動作となり、容量差分がシングルチャネル動作となります。
※ 6： 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(8GB)を2枚実装する必要があります。
※ 7： BD/DVD/CDドライブ使用中に、装置を大きく傾けたり、振ったりしないで下さい。BD、DVDやCDなどのディスクにキズが付く場合があります。
※ 8： ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。
※ 9： ブルーレイディスクの再生時は、必ずACアダプタをご使用ください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。
※ 10： 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 11： Waves社製MaxxAudio®SDは本体内蔵スピーカ専用の機能です。ヘッドフォンなどの外部機器では動作しません。
※ 12： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 13： 主な付属品を含みません。

※　14：パソコン本体のバッテリなど各種電池は消耗品です。
※　15：標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
※　16：公称容量(実使用上でのバッテリパックの容量)を示します。

BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き)[DVD-R/+R 2層書込み]
読出し	CD-ROM※2	最大24倍速	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速	最大5倍速
	DVD-R (2層)※5	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R (2層)	最大8倍速	最大8倍速
	BD-ROM	最大5倍速	−
	BD-R (1層)※10	最大5倍速	−
	BD-R (2層)※10	最大5倍速	−
	BD-R XL (3層)※12	最大2倍速	−
	BD-RE (1層)	最大5倍速	−
	BD-RE (2層)	最大5倍速	−
	BD-RE XL (3層)※13	最大2倍速	−
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速	最大24倍速
	CD-RW※3	最大10倍速	最大10倍速
	DVD-R※4	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RW※7	最大6倍速	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速※9	最大5倍速※9
	DVD-R (2層)※6	最大4倍速	最大6倍速
	DVD+R (2層)	最大4倍速	最大6倍速
	BD-R (1層)※10	最大4倍速	−
	BD-R (2層)※10	最大4倍速	−
	BD-R XL (3層)※12	最大2倍速	−
	BD-RE (1層)※11	最大2倍速	−
	BD-RE (2層)※11	最大2倍速	−
	BD-RE XL (3層)※13	最大2倍速	−

※　1：使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※　2：Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※　3：Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※　4：DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※　5：追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※　6：DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※　7：DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※　8：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※　9：DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※　10：BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。
※　11：BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。
※　12：BD-R Ver.2.0に準拠したディスクに対応しています。
※　13：BD-RE Ver.3.0に準拠したディスクに対応しています。

索引

ま

ら

異常や故障の場合には

万一、本製品に異常や故障が生じた場合には、次のように対処してください。

・本製品から煙が出たり、異臭がしたりする
・本製品が、手で触れないほど熱い
・本製品から異常な音がする
・本製品や接続されたケーブル類が破損した

すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。
※電源が切れないときには、そのまま電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

NEC サポート窓口（121 コンタクトセンター）にお問い合わせください。

初版 2012年10月.
NEC
853-811064-255-A
Printed in Japan

LaVie M
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）